

I. 健診受診者状況

1. 菊池市

1) 住民健診

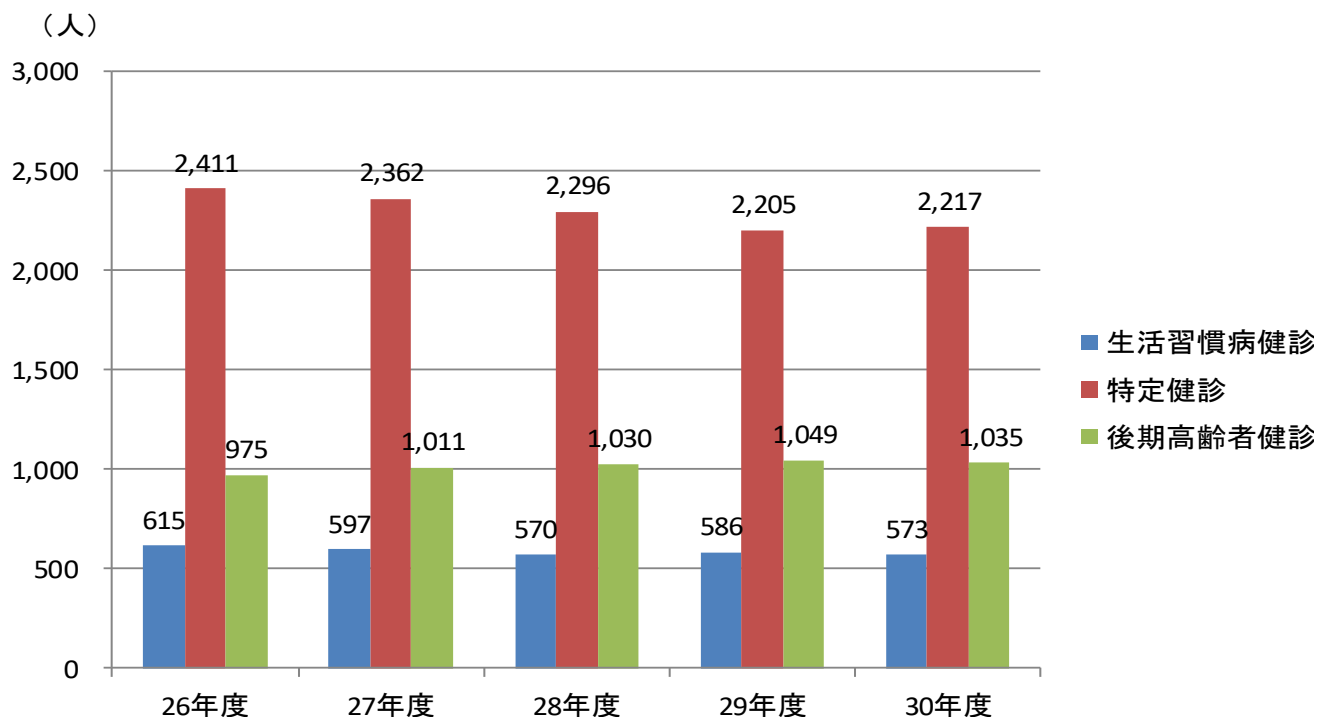
平成30年度菊池市住民健診受診者数は、次のとおりとなっている。

図1は、年度別受診者数推移(各種健診)を表している。前年度に比べ、生活習慣病健診は13名、後期高齢者健診は14名減少したが、特定健診は12名増加した。

受診率向上の活動として、昨年同様各行政区長に依頼し、複合健診前日及び当日に区内放送による健診案内の放送をしていただいたり、日曜日には若い世帯のために託児を実施した。

また、平成30年度は2月25日、26日、27日の3日間に簡易複合健診を実施した。この健診では、特定健診、生活習慣病健診、後期高齢者健診、肺がん検診、結核健診、腹部超音波検査が受診できる。菊池市より広報、ホームページによる周知を行う他、特定健診未受診者(約300名)に対しては、個別に受診勧奨を行った。結果特定健診を31名が受診し、最終的には12名増へと繋がった。

図1. 年度別受診者数推移(各種健診)



2) 住民健診判定内訳

① 菊池市健診年齢別総合判定の状況(年度年齢)

男女ともに経過観察が最も多く、全体の4割を占めている。各健診ごとの総合判定内訳の割合は例年と比べ大きな違いはみられていない。

総数	異常なし	軽度異常	経過観察	経過観察 3ヶ月	経過観察 6ヶ月	要精査	要治療	治療中	合計
生活習慣病健診	38	111	307	0	4	78	18	17	573
特定健診	6	32	258	345	253	167	239	917	2,217
後期高齢者健診	5	30	71	114	49	56	55	655	1,035
合計	49	173	636	459	306	301	312	1,589	3,825

男性	異常なし	軽度異常	経過観察	経過観察 3ヶ月	経過観察 6ヶ月	要精査	要治療	治療中	合計
生活習慣病健診	6	45	100	0	1	45	11	11	219
特定健診	3	13	86	135	108	69	104	445	963
後期高齢者健診	3	18	38	44	16	21	27	311	478
合計	12	76	224	179	125	135	142	767	1,660

女性	異常なし	軽度異常	経過観察	経過観察 3ヶ月	経過観察 6ヶ月	要精査	要治療	治療中	合計
生活習慣病健診	32	66	207	0	3	33	7	6	354
特定健診	3	19	172	210	145	98	135	472	1,254
後期高齢者健診	2	12	33	70	33	35	28	344	557
合計	37	97	412	280	181	166	170	822	2,165

② 男女別有所見状況

男性の有所見状況で最も割合が高い項目はHbA1c、次いで収縮期血圧、LDLコレステロールであった。女性はHbA1c、LDLコレステロール、収縮期血圧と続いた。

HbA1cは、男性で前年より9.8%減、女性で10.9%減と低下傾向にある。一方で、LDLコレステロールは男性で7.4%増、女性で9.4%増と増加傾向である。

男性	摂取エネルギーの過剰					
	BMI		腹囲		中性脂肪	
	25以上		男性85cm以上		150mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病健診	68	31.1	79	36.1	40	18.3
特定健診	295	30.6	483	50.2	283	29.4
後期高齢者健診	112	23.4			86	18.0
合計	475	28.6	562	47.5	409	24.6

男性	血管を傷つける								動脈硬化要因	
	HbA1c(NGSP)		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール	
	5.6%以上		7.1mg/dl以上		130mmHg以上		85mmHg以上		120mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病健診	51	23.3	82	37.4	37	16.9	18	8.2	93	42.5
特定健診	666	69.2	243	25.2	482	50.1	274	28.5	503	52.2
後期高齢者健診	341	71.3	94	19.7	328	68.6	102	21.3	220	46.0
合計	1,058	63.7	419	25.2	847	51.0	394	23.7	816	49.2

女性	摂取エネルギーの過剰					
	BMI		腹囲		中性脂肪	
	25以上		女性90cm以上		150mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病健診	49	13.8	27	7.6	12	3.4
特定健診	288	23.0	267	21.3	196	15.6
後期高齢者健診	134	24.1			77	13.8
合計	471	21.8	294	13.6	285	13.2

女性	血管を傷つける								動脈硬化要因	
	HbA1c(NGSP)		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール	
	5. 6%以上		7. 1mg/dl以上		130mmHg以上		85mmHg以上		120mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病健診	65	18.4	8	2.3	15	4.2	11	3.1	94	26.6
特定健診	896	71.5	45	3.6	502	40.0	179	14.3	865	69.0
後期高齢者健診	438	78.6	28	5.0	359	64.5	76	13.6	338	60.7
合計	1,399	64.6	81	3.7	876	40.5	266	12.3	1,297	59.9

③男女総数有所見状況

男女の総数の有所見状況で最も割合が高い項目はHbA1cであり、次いでLDLコレステロール、収縮期血圧であった。LDLコレステロールにおいては、どの健診でも有所見率が上昇しており、全受診者の半数を初めて上回る結果となった。一方、HbA1cの有所見率はどの健診でも低下してきており、前年度より9. 6%減であった。

総数	摂取エネルギーの過剰					
	BMI		腹囲		中性脂肪	
	25以上		男性85・女性90cm以上		150mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病健診	114	19.9	111	19.4	52	9.1
特定健診	564	25.4	733	33.1	479	21.6
後期高齢者健診	236	22.8			163	15.7
合計	914	23.9	844	30.3	694	18.1

総数	血管を傷つける								動脈硬化要因	
	HbA1c(NGSP)		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール	
	5. 6%以上		7. 1mg/dl以上		130mmHg以上		85mmHg以上		120mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病健診	116	20.2	90	15.7	52	9.1	29	5.1	188	32.8
特定健診	1,562	70.5	288	13.0	984	44.4	453	20.4	1,377	62.1
後期高齢者健診	779	75.3	122	11.8	687	66.4	178	17.2	558	53.9
合計	2,457	64.2	500	13.1	1,723	45.0	660	17.3	2,123	55.5

3)CKD重症度分類（菊池市生活習慣病健診）

生活習慣病健診における平成30年度のCKD重症度分類受診者総数は570人である。受診者のCKD重症度分類内訳を表1に、腎機能判定内訳を表2に、健診成績を表3に、精密検査結果を表4～6に示す。

精検対象者は2人(要精検率0.35%)であり、そのうち精検受診数は1人であった。

分類実施人数：570人(内36人は尿中タンパク/クレアチニン比により判定)
CKD未実施者：3人(内1人は生活保護受給者であり75歳以上にて未実施。2人は生理中にて測定不能)

表1 CKD重症度分類内訳 (人)

尿蛋白または eGFR区分 (ml/分/1.73m ²)		A1	A2	A3
		(-)・(±)	(+)	(2+)以上
		0.15未満	0.15～0.49	0.50以上
G1	90以上	245	2	1
G2	60～90未満	315	4	0
G3a	45～60未満	3	0	0
G3b	30～45未満	0	0	0
G4	15～30未満	0	0	0
G5	15未満	0	0	0

A

B

C1

C2またはD

D

表2 腎機能判定内訳 (人)

	異常なし	軽度変化	経過観察 1年	経過観察 6ヵ月	要精検	治療中	総数
28年度	213	234	107	7	6	0	567
29年度	269	228	78	6	4	0	585
30年度	247	236	81	6	2	1	573

表3 健診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診 数 C(人)	精検受診 率 C/B(%)
28年度	567	6	1.06	2	33.3
29年度	585	4	0.68	3	75.0
30年度	573	2	0.35	1	50.0

表4 精密検査(診断名) (人)

慢性腎臓病(CKD)	1
合計	1

表5 精密検査結果(事後指導・指示) (人)

要治療(外来)	1
合計	1

4)CKD重症度分類（菊池市特定健診）

特定健診における平成30年度のCKD重症度分類受診者総数は2,217人である。受診者のCKD重症度分類内訳を表1に、腎機能判定内訳を表2に、健診成績を表3に、精密検査結果を表4～6に示す。

精検対象者は97人(要精検率4.38%)であり、そのうち精検受診数は70人(精検受診率72.2%)であった。

分類実施人数：2,217名(内103名は尿中タンパク/クレアチニン比により判定)

CKD未実施者：0名

表1 CKD重症度分類内訳 (人)

eGFR区分 (ml/分/1.73m ²)	尿蛋白または 尿蛋白/Cr比	A1	A2	A3
		(-)・(±)	(+)	(2+)以上
		0.15未満	0.15～0.49	0.50以上
G1	90以上	122	3	1
G2	60～90未満	1546	11	10
G3a	45～60未満	464	10	7
G3b	30～45未満	32	3	4
G4	15～30未満	0	1	2
G5	15未満	0	0	1

A
B
C1
C2またはD
D

表2 腎機能判定内訳 (人)

	異常なし	軽度変化	経過観察 1年	経過観察 6ヵ月	要精密	治療中	総数
28年度	108	1,410	658	20	94	6	2,296
29年度	166	1,433	493	17	91	5	2,205
30年度	122	1,393	591	10	97	4	2,217

表3 健診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診 数 C(人)	精検受診 率 C/B(%)
28年度	2,296	94	4.09	72	76.6
29年度	2,205	91	4.13	68	74.4
30年度	2,217	97	4.38	70	72.2

表4 精密検査結果(診断名) (人)

異常なし	7
記載なし、FAX回答	7
慢性腎臓病(CKD)	36
糖尿病性腎症	7
腎硬化症	6
慢性腎不全	2
その他	5
合計	70

表5 精密検査結果(事後指導・指示) (人)

治療不要	12
記載なし、FAX回答	1
経過観察(1ヶ月)	3
経過観察(3ヶ月)	12
経過観察(6ヶ月)	12
経過観察(12ヶ月)	6
要治療(外来)、要治療(入院)	11
治療中	13
合計	70

3) 菊池市がん検診 年度別実績

平成30年度各種がん検診受診者数は、次のとおりとなっている。

●胃がん検診

(人)

年度年齢	26年度			27年度			28年度			29年度			30年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	92	136	4	91	122	3	81	99	3	96	87	5	101	87	2
40～44歳	51	58	3	59	52	5	42	43	2	44	46	2	42	51	1
45～49歳	49	70	0	51	49	2	52	49	1	45	47	0	40	41	2
50～54歳	31	63	2	33	60	2	28	51	2	35	42	2	41	54	3
55～59歳	56	96	10	61	87	9	49	71	4	42	63	4	37	61	6
60～64歳	136	124	7	134	111	13	99	101	8	89	115	7	85	97	7
65～69歳	187	142	25	182	145	27	190	142	15	165	126	19	152	103	10
70～74歳	162	109	17	141	102	16	107	82	13	145	82	15	138	106	12
75～79歳	94	59	10	105	44	8	91	47	4	67	36	8	86	31	9
80歳～	28	12	1	32	19	6	25	15	1	26	22	6	25	14	1
小 計	886	869	79	889	791	91	764	700	53	754	666	68	747	645	53
合 計	1,755		79	1,680		91	1,464		53	1,420		68	1,392		53

●腹部超音波検診

(人)

年度年齢	26年度			27年度			28年度			29年度			30年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	214	382	5	219	375	7	212	382	3	214	407	4	215	361	6
40～44歳	65	135	4	84	151	4	71	143	4	75	158	4	76	155	5
45～49歳	74	135	6	83	143	6	70	135	5	69	125	2	62	139	3
50～54歳	54	198	5	58	192	6	47	165	5	69	156	1	73	160	5
55～59歳	105	272	6	119	279	9	94	232	5	85	256	7	75	237	7
60～64歳	227	356	12	222	347	18	180	334	7	175	344	7	162	352	8
65～69歳	314	464	16	325	481	18	350	484	19	321	475	14	323	469	18
70～74歳	321	409	15	276	382	17	250	373	18	295	411	11	331	466	18
75～79歳	239	322	21	260	335	16	247	320	16	252	311	12	284	319	14
80歳～	200	206	11	221	220	15	232	239	18	221	271	16	216	263	18
小 計	1,813	2,879	101	1,867	2,905	116	1,753	2,807	100	1,776	2,914	78	1,817	2,921	102
合 計	4,692		101	4,772		116	4,560		100	4,690		78	4,738		102

●大腸がん(便潜血)検診

(人)

年度年齢	26年度			27年度			28年度			29年度			30年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	103	205	8	116	243	19	103	211	17	120	192	11	116	195	19
40～44歳	75	151	11	124	181	23	91	132	16	92	187	15	78	155	13
45～49歳	82	136	15	105	152	11	56	78	5	61	98	9	54	104	8
50～54歳	66	180	14	87	217	5	33	110	6	46	116	11	65	112	11
55～59歳	115	242	31	155	306	24	72	169	15	78	194	14	64	170	11
60～64歳	244	330	50	303	385	49	156	258	23	147	297	25	144	305	25
65～69歳	254	344	32	286	392	53	316	385	45	289	395	43	295	392	50
70～74歳	256	300	35	239	307	46	205	276	22	269	328	45	287	378	39
75～79歳	189	230	30	215	261	42	186	226	27	192	245	32	202	239	39
80歳～	172	151	26	196	189	45	185	191	38	186	214	52	183	220	41
小 計	1,556	2,269	252	1,826	2,633	317	1,403	2,036	214	1,480	2,266	257	1,488	2,270	256
合 計	3,825		252	4,459		317	3,439		214	3,746		257	3,758		256

●乳房マンモグラフィ検診

(人)

年度年齢	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳										
40～44歳	130	8	137	11	111	4	145	2	119	4
45～49歳	133	12	138	10	115	4	106	2	94	4
50～54歳	156	10	155	10	141	4	115	3	111	3
55～59歳	213	7	218	14	158	4	171	4	150	2
60～64歳	215	7	239	14	214	7	224	4	202	7
65～69歳	236	6	264	10	262	3	241	4	240	1
70～74歳	168	5	199	5	170	5	213	7	190	6
75～79歳	105	1	128	0	126	2	117	3	137	2
80歳～	76	0	62	5	79	1	88	2	77	1
小 計	1,432	56	1,540	79	1,376	34	1,420	31	1,320	30
合 計	1,432	56	1,540	79	1,376	34	1,420	31	1,320	30

●乳房超音波検診

(人)

年度年齢	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳	508	3	514	7	525	6	566	4	533	5
40～44歳	62	1	73	3	91	0	92	0	100	1
45～49歳	63	2	69	2	85	1	76	2	75	3
50～54歳	89	0	95	1	86	5	97	1	83	1
55～59歳	140	0	124	1	145	1	157	0	100	0
60～64歳	170	3	172	0	172	3	191	1	162	1
65～69歳	228	2	211	0	248	1	255	2	238	2
70～74歳	215	5	187	0	193	3	199	1	253	2
75～79歳	174	2	159	0	169	1	170	2	160	2
80歳～	79	1	98	0	108	1	121	0	125	0
小 計	1,728	19	1,702	14	1,822	22	1,924	13	1,829	17
合 計	1,728	19	1,702	14	1,822	22	1,924	13	1,829	17

●子宮頸がん検診

(人)

年度年齢	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳	297	7	273	9	280	7	286	6	291	6
40～44歳	102	1	112	3	103	2	109	3	124	10
45～49歳	93	1	106	1	96	0	85	2	100	2
50～54歳	96	0	101	0	96	2	93	0	118	4
55～59歳	152	2	170	2	146	0	158	1	136	0
60～64歳	220	2	231	3	207	1	212	1	207	2
65～69歳	286	2	310	1	320	0	299	1	285	1
70～74歳	228	0	213	3	220	0	255	1	266	1
75～79歳	169	0	161	1	155	2	155	0	162	0
80歳～	89	1	86	1	100	0	101	0	97	0
小 計	1,732	16	1,763	24	1,723	14	1,753	15	1,786	26
合 計	1,732	16	1,763	24	1,723	14	1,753	15	1,786	26

6)肺がん検診

平成30年度の菊池市肺がん検診受診者総数は2,514人(男性1,117人、女性1,397人)である。受診者の年次推移を図1に、喀痰検査の年次推移を図2に、胸部X線の判定内訳を表1に、喀痰検査判定内訳を表2に示す。要精検数は51人(要精検率2.03%)であり、そのうち精検受診者は47人(精検受診率92.2%)であった。年度別肺がん検診の成績を表3に示す。がん発見数は2人だった。発見がんの精密検査結果を表4に示す。

図1 肺がん検診 年次推移

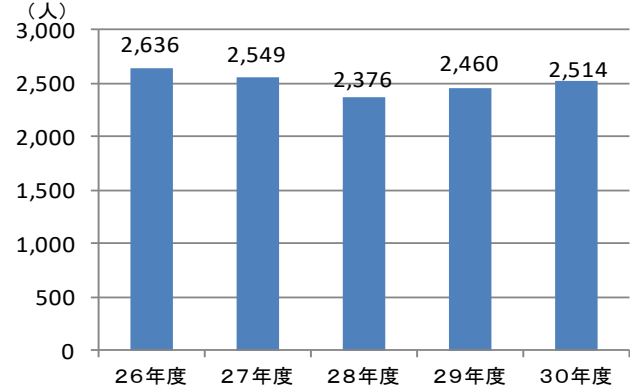


図2 喀痰検査 年次推移

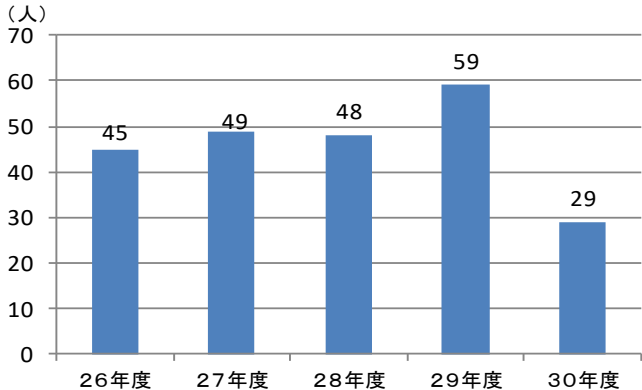


表1 胸部X線及び喀痰検査判定内訳 (人)

	異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
胸部X線	2,415	21	27	51	0	2,514
喀痰検査	27	0	0	2	0	29

表2 年度別肺がん検診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	がん発見数 F(人)	がん疑い数 (人)	がん発見率 F/A(%)	陽性反応 的中度 F/B(%)	比較読影数 (人)
26年度	2,636	23	0.87	19	82.6	2	0	0.08	8.69	163
27年度	2,549	31	1.22	27	87.1	2	0	0.08	6.45	260
28年度	2,376	57	2.40	49	86.0	1	2	0.04	1.75	129
29年度	2,460	43	1.75	42	97.7	1	1	0.04	2.33	100
30年度	2,514	51	2.03	47	92.2	2	1	0.08	3.92	373
許容値			3.00		70.0			0.03	1.30	

表3 年度別喀痰検査実施状況

	喀痰検査 該当者数 G(人)	喀痰検査 実施数 H(人)	喀痰 未提出者数 (人)	提出率 H/G(%)
26年度	51	45	6	88.2
27年度	52	49	3	94.2
28年度	51	48	3	94.1
29年度	61	59	2	96.7
30年度	29	29	0	100.0

表4 肺がん精密結果

病期分類	T 原発巣	N 所属 リンパ節	M 遠隔転移
I A期	T1b	NO	MO
I A期	T1c	NO	MO

7)結核検診

平成30年度の菊池市結核検診受診者総数は1,633人(男性653人、女性980人)であった。受診者の年次推移を図1に、検診時の判定内訳を表1に、結核検診年度別受診者数を表2に、結核検診成績を表3に示す。

前年度と受診者数は同数であったが、検診の人数が減り、巡回の人数が58名増加した。精検対象者は61人(要精検率3.74%)であり、そのうち精検受診数は57人(精検受診率93.4%)であった。要精検率が高くなっているのは、今年度より読影医師が変わったことと、二重読影を始めたことが要因として挙げられる。結核発見数は0人であったが、がん発見数は2人、がん疑数は2人、がん発見率は0.12%であった。

図1. 結核検診 年次推移

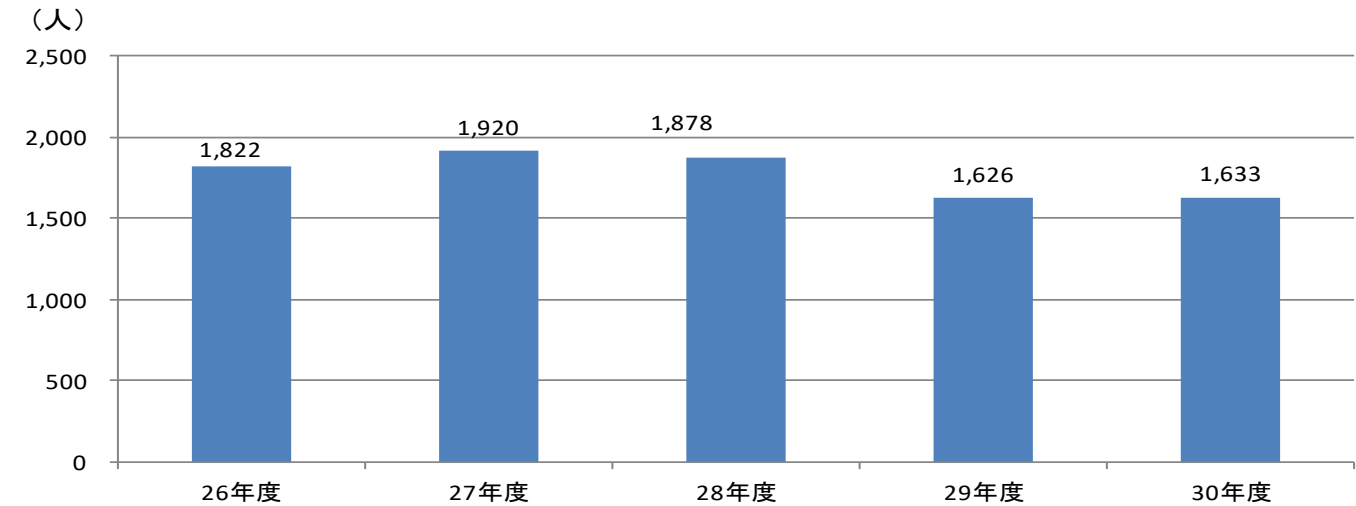


表1. 結核検診 判定内訳 (人)

異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
1,497	41	31	61	3	1,633

表2. 結核検診 年度別受診者数 (人)

年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
65歳以上	検診	1,509	1,638	1,626	1,538	1,487
	巡回	291	267	243	85	143
	合計	1,800	1,905	1,869	1,623	1,630
65歳未満※ ※65歳未満は自己負担での検査	検診	7	6	6	3	1
	巡回	15	9	3	0	2
	合計	22	15	9	3	3
年度総数		1,822	1,920	1,878	1,626	1,633

表3. 結核検診成績

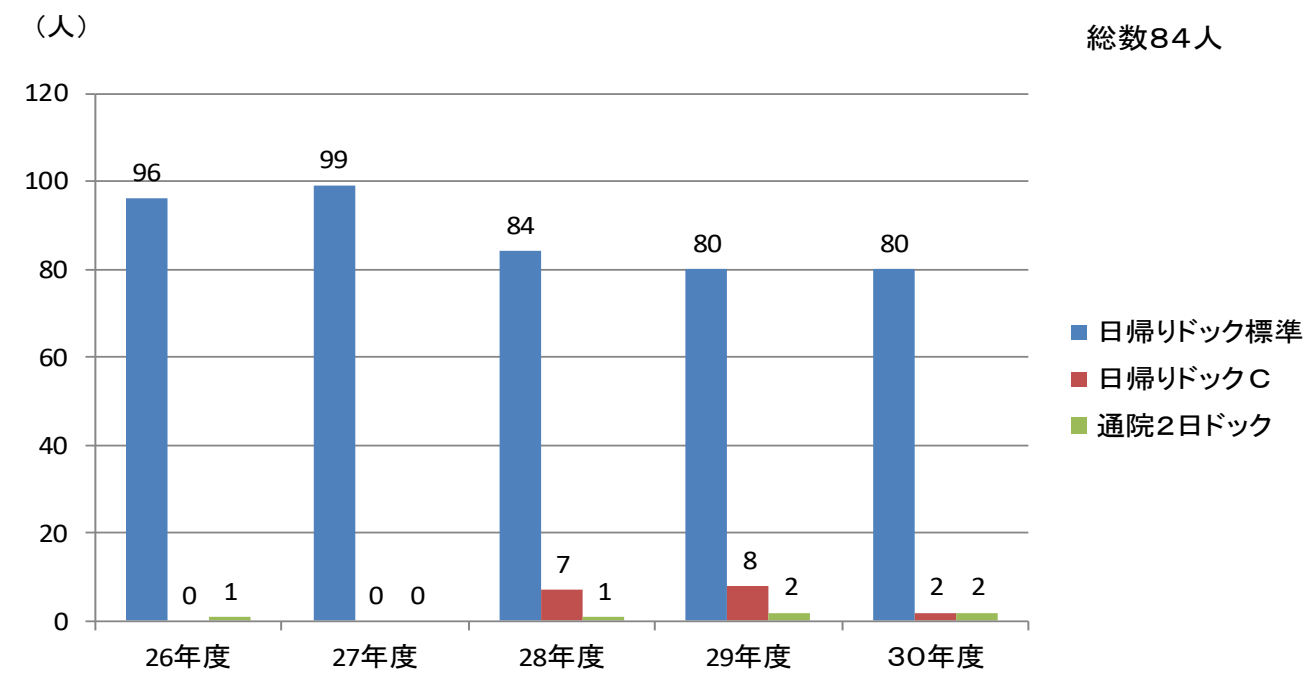
	受診者総数	要精検数	要精検率	精検受診数	精検受診率	結核発見数	結核発見率	結核疑い
	A(人)	B(人)	B/A(%)	C(人)	C/B(%)	F(人)	F/A(%)	G(人)
26年度	1,822	16	0.88	14	87.5	0	0	1
27年度	1,920	26	1.35	23	88.5	0	0	0
28年度	1,878	20	1.06	18	90.0	0	0	0
29年度	1,626	20	1.23	17	85.0	0	0	0
30年度	1,633	61	3.74	57	93.4	0	0	0

	がん発見数	がん発見率	がん疑数
	D(人)	D/A(%)	E(人)
26年度	1	0.05	0
27年度	3	0.16	2
28年度	1	0.05	1
29年度	0	0.00	0
30年度	2	0.12	2

8) 人間ドック

平成30年度菊池市人間ドック受診者数は、次のとおりとなっている。図1は、各種ドック年度別受診者数推移を表している。日帰りドック標準コース80人、日帰りドックCコース2人、通院2日コース2人となっている。

図1. 各種ドック年度別受診者数推移



9) 肝炎ウイルス検査

平成30年度の肝炎ウイルス検査受診者総数は89人であった。年度別及び年齢別受診者数を表1に示す。
昨年と比べると健診時・二次健診ともに増加している。

表1. 肝炎ウイルス検査 年度及び年齢別受診数 (人)

年齢	肝炎検査									
	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	健診時	二次健診	健診時	二次健診	健診時	二次健診	健診時	二次健診	健診時	二次健診
40歳	48	0	50	0	44	0	55	0	52	0
41～69歳	38	8	23	9	16	9	22	3	28	3
70歳以上	5	1	2	2	1	3	3	1	2	4
小計	91	9	75	11	61	12	80	4	82	7
合計	100		86		73		84		89	

※平成31年3月31日時点での年齢とする。

10)精密検査受診状況

精検受診率は生活習慣病健診41.0%、特定健診63.7%、後期高齢者健診80.8%、人間ドック66.7%となっている。生活習慣病健診、特定健診世代の精検受診率を上げていくことが課題である。

人間ドック受診者の精検受診率を向上させるには、これまで同様当日の説明時に受診勧奨を確実に行っていく必要があると考える。

生活習慣病健診		血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行		4	50	2	12	6	14	19	10	0	117
受診済み		1	22	1	3	1	3	15	2	0	48
精密受診率(%)		25.0	44.0	50.0	25.0	16.7	21.4	78.9	20.0	0.0	41.0
受診 済み 内訳	異常なし	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	経過観察	0	16	0	1	0	1	6	1	0	
	要治療	1	2	1	2	0	2	8	0	0	
	治療中	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
	不明	0	2	0	0	0	0	3	0	0	

特定健診		血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行		86	155	97	167	111	21	46	103	22	808
受診済み		52	96	70	98	67	12	28	74	18	515
精密受診率(%)		60.5	61.9	72.2	58.7	60.4	57.1	60.9	71.8	81.8	63.7
受診 済み 内訳	異常なし	11	7	12	5	1	0	7	27	4	
	経過観察	7	63	33	41	30	7	10	36	3	
	要治療	31	13	11	46	25	3	7	4	9	
	治療中	2	5	13	2	9	1	1	1	1	
	不明	1	8	1	4	2	1	3	6	1	

後期高齢者健診		血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行		16	38	96	32	59	11	8	73	16	349
受診済み		11	27	80	27	50	8	6	59	14	282
精密受診率(%)		68.8	71.1	83.3	84.4	84.7	72.7	75.0	80.8	87.5	80.8
受診 済み 内訳	異常なし	3	3	7	2	4	1	1	19	2	
	経過観察	2	16	41	12	24	1	2	24	3	
	要治療	2	3	11	11	13	5	3	9	8	
	治療中	2	4	18	0	9	1	0	3	1	
	不明	2	1	3	2	0	0	0	4	0	

[illegible]

2. 合志市

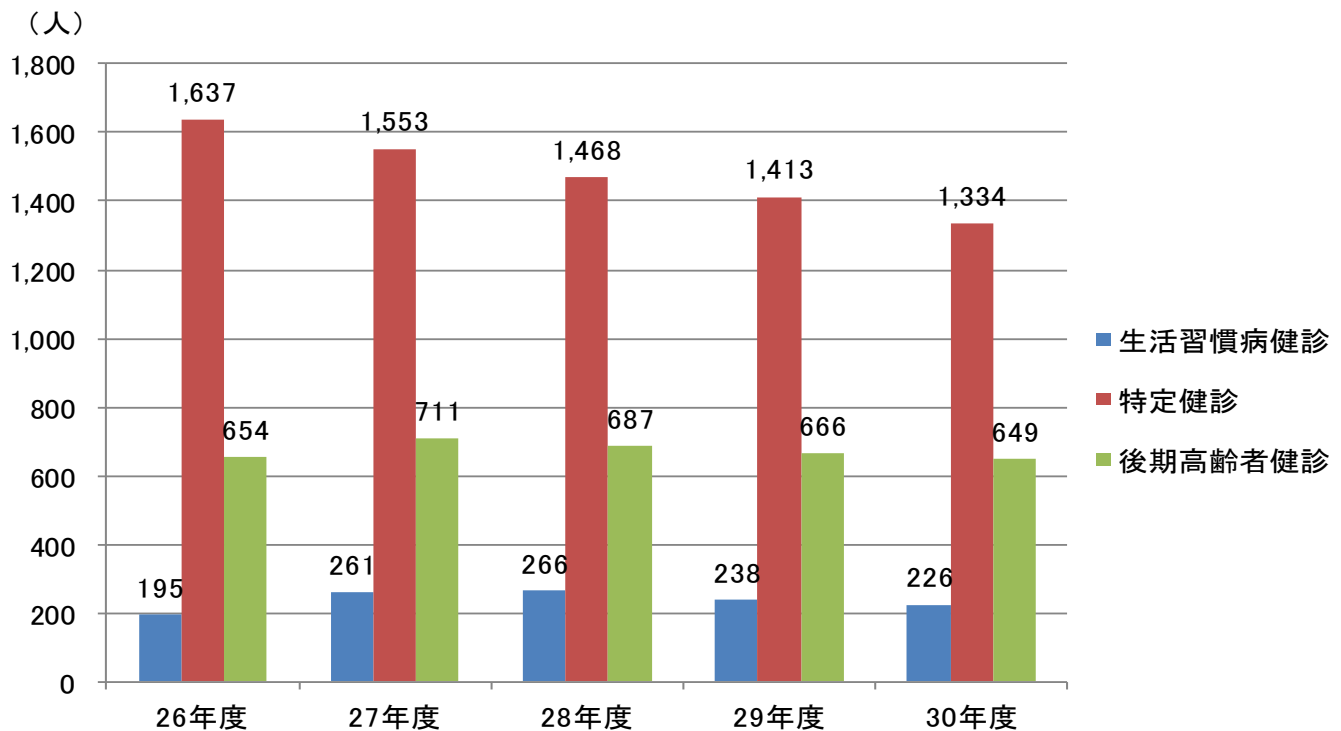
1) 住民健診

平成30年度合志市住民健診受診者数は、次のとおりとなっている。

図1は、年度別受診者数推移(各種健診)を表している。前年度に比べ、生活習慣病健診は12人、特定健診は79人、後期高齢者健診は17人減少した。

平成30年度はウェルネスシティこうしの事業より新たな試みを2つ実施した。1つは、26歳から39歳の若い子育て中のお母さんを対象にした子育てママリフレッシュ健診。2つ目は40歳から74歳の特定健診未受診者を対象としたプレミアム健診。どちらも、健診受診後に本組合の管理栄養士が考案したランチを食べていただき、ミニ健康講座を行うものである。子育てママリフレッシュ健診は1日定員15名を2日間実施した結果、2日間とも定員を満たした。また、プレミアム健診は、2月と3月に計4日間実施した結果、39名が受診した。特定健診においては、前年度に比べ79名減となっているが、39名受診した内20名(約50%)が初めて若しくは5年以上ぶりに受診しており、子育てママリフレッシュ健診同様、本組合をより多くの合志市民に知っていただき、健康づくりのきっかけへと繋がった。

図1. 年度別受診者数推移(各種健診)



2)住民健診判定内訳

①合志市健診年齢別総合判定の状況(年度年齢)

男女共に治療中の割合が最も高く、男性では約半数を占めた。

総数	異常なし	軽度異常	経過観察	経過観察 3ヶ月	経過観察 6ヶ月	要精査	要治療	治療中	合計
生活習慣病	15	35	125	0	0	36	3	12	226
特定健診	2	14	124	199	143	130	145	577	1,334
後期高齢者健診	1	15	52	76	27	53	45	380	649
合計	18	64	301	275	170	219	193	969	2,209

男性	異常なし	軽度異常	経過観察	経過観察 3ヶ月	経過観察 6ヶ月	要精査	要治療	治療中	合計
生活習慣病	0	10	35	0	0	13	1	4	63
特定健診	1	3	53	63	62	30	54	250	516
後期高齢者健診	1	8	32	30	14	19	21	179	304
合計	2	21	120	93	76	62	76	433	883

女性	異常なし	軽度異常	経過観察	経過観察 3ヶ月	経過観察 6ヶ月	要精査	要治療	治療中	合計
生活習慣病	15	25	90	0	0	23	2	8	163
特定健診	1	11	71	136	81	100	91	327	818
後期高齢者健診	0	7	20	46	13	34	24	201	345
合計	16	43	181	182	94	157	117	536	1,326

②男女別有所見状況

男性の有所見状況で最も割合が高い項目はHbA1cであるが、昨年にと比べると4.6%減であった。次いで、収縮期血圧、LDLコレステロール、腹囲となっている。LDLコレステロールはどの健診においても有所見者割合が増加しており、全体で9.1%増加であった。また、腹囲においては特定健診受診者の約半数近くが有所見者であった。

女性はHbA1c、LDLコレステロール、収縮期血圧の順で有所見者の割合が高かった。LDLコレステロールにおいては、前年より10.1%増加となっている。

男性	摂取エネルギーの過剰					
	BMI		腹囲		中性脂肪	
	25以上		男性85cm以上		150mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病	17	27.0	23	36.5	20	31.7
特定健診	156	30.2	243	47.1	148	28.7
後期高齢者健診	59	19.4			65	21.4
合計	232	26.3	266	45.9	233	26.4

男性	血管を傷つける								動脈硬化要因	
	HbA1c(NGSP)		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール	
	5.6%以上		7.1mg/dl以上		130mm/Hg以上		85mm/Hg以上		120mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病	20	31.7	22	34.9	13	20.6	9	14.3	28	44.4
特定健診	354	68.6	108	20.9	266	51.6	149	28.9	284	55.0
後期高齢者健診	231	76.0	48	15.8	188	61.8	50	16.4	142	46.7
合計	605	68.5	178	20.2	467	52.9	208	23.6	454	51.4

女性	摂取エネルギーの過剰					
	BMI		腹囲		中性脂肪	
	25以上		女性90cm以上		150mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病	18	11.0	11	6.7	7	4.3
特定健診	135	16.5	135	16.5	136	16.6
後期高齢者健診	82	23.8			52	15.1
合計	235	17.7	146	14.9	195	14.7

女性	血管を傷つける								動脈硬化要因	
	HbA1c(NGSP)		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール	
	5.6%以上		7.1mg/dl以上		130mm/Hg以上		85mm/Hg以上		120mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病	36	22.1	1	0.6	9	5.5	4	2.5	45	27.6
特定健診	606	74.1	20	2.4	353	43.2	123	15.0	575	70.3
後期高齢者健診	283	82.0	8	2.3	213	61.7	43	12.5	222	64.3
合計	925	69.8	29	2.2	575	43.4	170	12.8	842	63.5

③男女総数有所見状況

男女の総数の有所見状況で最も多い項目はHbA1cであったが、前年度比－4.7%と減少傾向である。次いで、LDLコレステロール、収縮期血圧であった。LDLコレステロールは前年比9.7%増加であり、動脈硬化予防対策にさらに注力する必要があると思われる。

総数	摂取エネルギーの過剰					
	BMI		腹囲		中性脂肪	
	25以上		男性85・女性90cm以上		150mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病	35	15.5	31	13.7	27	11.9
特定健診	291	21.8	391	29.3	284	21.3
後期高齢者健診	141	21.7			117	18.0
合計	467	21.1	422	27.1	428	19.4

総数	血管を傷つける								動脈硬化要因	
	HbA1c(NGSP)		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール	
	5.6%以上		7.1mg/dl以上		130mm/Hg以上		85mm/Hg以上		120mg/dl以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生活習慣病	56	24.8	23	10.2	22	9.7	13	5.8	73	32.3
特定健診	960	72.0	128	9.6	619	46.4	272	20.4	859	64.4
後期高齢者健診	514	79.2	56	8.6	401	61.8	93	14.3	364	56.1
合計	1,530	69.3	207	9.4	1,042	47.2	378	17.1	1,296	58.7

3)CKD重症度分類（合志市生活習慣病健診）

生活習慣病健診における平成30年度のCKD重症度分類受診者総数は226人である。
受診者のCKD重症度分類内訳を表1に、腎機能判定内訳を表2に、健診成績を表3に精密検査結果を表4～6に示す。

精検対象者は1人(要精検率0.44%)であり、そのうち精検受診数は0人(精検受診率0.0%)であった。

分類実施人数：226人(内13人は尿中タンパク/クレアチニン比により判定)

CKD未実施者：0人

生活習慣病健診受診者の内、65歳以上の生活保護受給者:3人

表1 CKD重症度分類内訳 (人)

尿蛋白または eGFR区分 (ml/分/1.73m ²)		A1	A2	A3
		(-)・(±)	(+)	(2+)以上
		0.15未満	0.15～0.49	0.50以上
G1	90以上	91	0	1
G2	60～90未満	124	1	0
G3a	45～60未満	9	0	0
G3b	30～45未満	0	0	0
G4	15～30未満	0	0	0
G5	15未満	0	0	0

A

B

C1

C2またはD

D

表2 腎機能判定内訳 (人)

	異常なし	軽度変化	経過観察 1年	経過観察 6ヵ月	要精密	治療中	総数
28年度	118	112	34	0	2	0	266
29年度	79	91	25	1	2	0	198
30年度	91	97	35	1	2	0	226

表3 健診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診 数 C(人)	精検受診 率 C/B(%)
28年度	266	2	0.8	1	50.0
29年度	198	2	1.01	2	100.0
30年度	226	2	0.88	1	50.0

表4 精密検査結果(診断名) (人)

正常下限	1
合計	1

※精検受診数1名は生活保護受給者
70歳以上であった。

表5 精密検査結果(事後指導・指示) (人)

要治療外来	1
合計	0

4)CKD重症度分類（合志市特定健診）

特定健診における平成30年度のCKD重症度分類受診者総数は1,334人である。
受診者のCKD重症度分類内訳を表1に、腎機能判定内訳を表2に、健診成績を表3に精密検査結果を表4～6に示す。

精検対象者は82人(要精検率6.14%)であり、そのうち精検受診数は52人(精検受診率63.4%)であった。

分類実施人数：1,331人(内144人は尿中タンパク/クレアチニン比により判定)

CKD未実施者：3人(透析中の為測定不能 2人・生理中の為測定不能 1人)

表1 CKD重症度分類内訳 (人)

eGFR区分 (ml/分/1.73m ²)	尿蛋白または 尿蛋白/Cr比	A1	A2	A3
		(-)・(±)	(+)	(2+)以上
		0.15未満	0.15～0.49	0.50以上
G1	90以上	77	1	1
G2	60～90未満	857	25	8
G3a	45～60未満	310	16	2
G3b	30～45未満	25	4	2
G4	15～30未満	1	0	1
G5	15未満	0	0	1

A
 B
 C1
 C2またはD
 D

表2 腎機能判定内訳 (人)

	異常なし	軽度変化	経過観察 1年	経過観察 6ヵ月	要精密	治療中	総数
28年度	60	821	463	25	93	6	1,468
29年度	71	854	352	22	81	5	1,385
30年度	78	778	372	17	82	7	1,334

表3 健診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診 数 C(人)	精検受診 率 C/B(%)
28年度	1,468	93	6.3	63	67.7
29年度	1,385	81	5.84	46	56.8
30年度	1,334	82	6.14	52	63.4

表4 精密検査結果(診断名) (人)

異常なし	3
慢性腎臓病(CKD)	18
腎硬化症	14
糖尿病性腎症	3
慢性腎不全	2
その他	12
合計	52

表5 精密検査結果(事後指導・指示) (人)

治療不要	3
経過観察(1ヵ月)	3
経過観察(3ヶ月)	10
経過観察(6ヶ月)	19
経過観察(12ヶ月)	2
要治療(外来)、要治療(専門医紹介)	2
治療中	13
合計	52

5)肺がん検診

平成30年度の合志市肺がん検診受診者総数は2,782人(男性1,156人、女性1,626人)である。受診者の年齢分布を図1に、胸部X線の判定内訳を表1に、喀痰検査判定内訳を表2に示す。精検対象者数は48人(要精検率1.73%)であり、そのうち精検受診者は44人(精検受診率91.7%)であった。年度別肺がん検診の成績を表3に示す。平成30年度のがん発見数は4人で、がん発見率は0.14%であり陽性反応的中度は8.33%である。喀痰検査では、実施者22人で、22人全員が異常なしであった。年度別喀痰検査実施状況を表3に示す。発見がんの精密検査結果を表4に示す。2名分は不明となっており、今後調査を行う。

図1 肺がん検診 年次推移

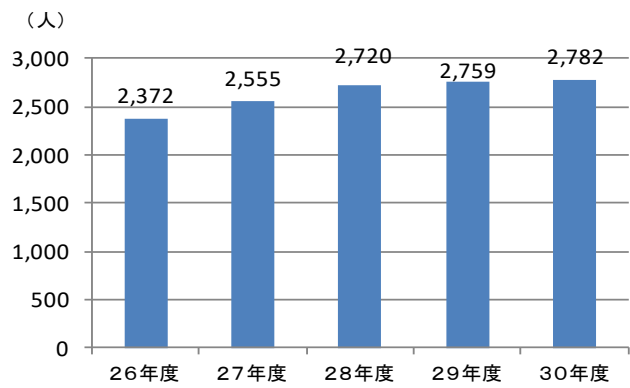


図2 喀痰検査 年次推移

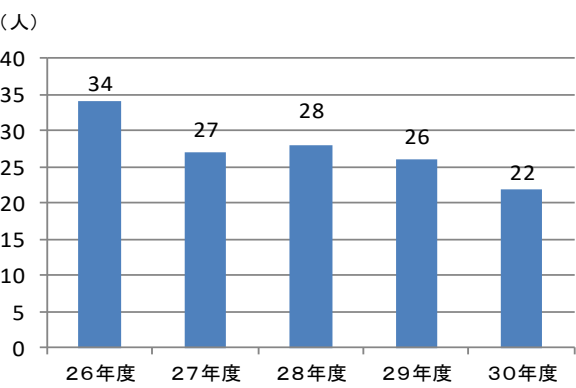


表1 胸部X線及び喀痰検査判定内訳 (人)

	異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
胸部X線	2,670	33	31	48	0	2,782
喀痰検査	22	0	0	0	0	22

表2 年度別肺がん検診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	がん発見数 F(人)	がん疑い数 (人)	がん発見率 F/A(%)	陽性反応 の 中 度 F/B(%)	比較読影数 (人)
26年度	2,372	21	0.89	19	91.0	2	1	0.08	9.50	137
27年度	2,555	33	1.29	30	91.0	1	1	0.04	3.00	174
28年度	2,720	72	2.65	59	82.0	3	2	0.11	4.17	160
29年度	2,759	51	1.85	49	96.1	1	0	0.04	2.00	94
30年度	2,782	48	1.73	44	91.7	4	0	0.14	8.33	173
許容値			3.00		70.0			0.03	1.30	

表3 年度別喀痰検査実施状況

	喀痰検査 該当者数 G(人)	喀痰検査 実施数 H(人)	喀痰 未提出者数 (人)	提出率 H/G(%)
26年度	36	34	2	94.4
27年度	29	27	2	93.1
28年度	29	28	1	96.6
29年度	29	26	3	89.7
30年度	23	22	1	95.7

表4 肺がん精密結果

病期分類	T 原発巣	N 所属 リンパ節	M 遠隔転移
Ⅳ期	T4	NO	M1a
ⅠA2期	T1b	NO	MO

6)結核健診

平成30年度の合志市結核健診受診者総数は2,059人(男性795人、女性1,264人)だった。受診者の年次推移を図1に、健診時の判定内訳を表1に、結核健診年度別受診者数を表2に、結核健診成績を表3に示す。

精検対象者は60人(要精検率2.91%)であり、そのうち精検受診数は50人(精検受診率83.3%)であった。要精検率が高くなっているのは、今年度より読影医師が変わったことと、二重読影を始めたことが要因として挙げられる。結核発見数は1人、結核発見率は0.05%、要治療で入院となった。がん発見数は0人であったが、肺がん疑いが6人であった。受診者総数は前年度までは結核健診の受診者数は減少傾向にあったが、今年度については前年度とほぼ同数となっている。

図1. 結核健診 年次推移

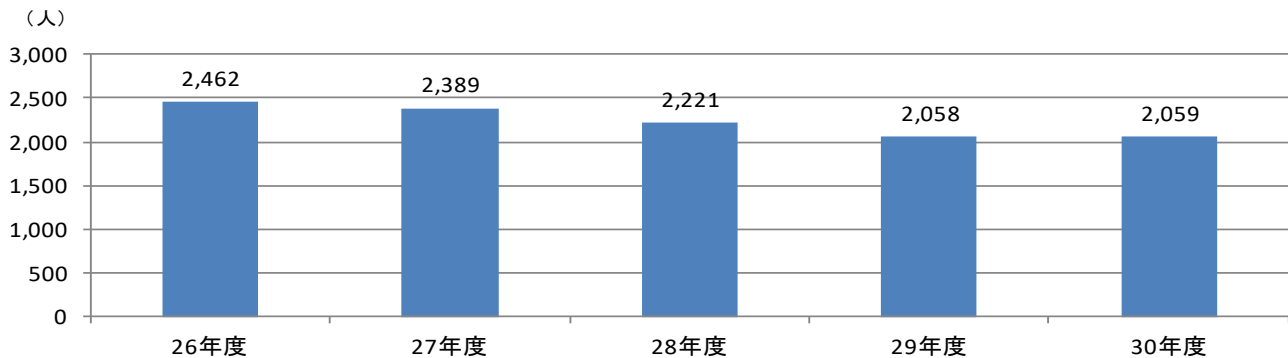


表1. 結核健診 判定内訳 (人)

異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
1,915	44	37	60	3	2,059

表2. 結核健診 年度別受診者数 (人)

年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
65歳以上	健診	1,074	1,076	1,050	980	892
	肺がん検診時	—	983	153	147	183
	巡回	1,360	313	1,007	919	974
	合計	2,434	2,372	2,210	2,046	2,049
65歳未満※	健診	26	16	9	10	8
	肺がん検診時	—	0	0	0	0
	巡回	2	1	2	2	2
	合計	28	17	11	12	10
年度総計		2,462	2,389	2,221	2,058	2,059

表3. 結核健診成績

	受診者総数	要精検数	要精検率	精検受診数	精検受診率	結核発見数	結核発見率
	A(人)	B(人)	B/A(%)	C(人)	C/B(%)	F(人)	F/A(%)
26年度	2,462	20	0.81	18	90.0	0	0
27年度	2,389	25	1.05	19	76.0	0	0
28年度	2,221	29	1.31	24	82.8	0	0
29年度	2,058	24	1.17	22	91.7	0	0
30年度	2,059	60	2.91	50	83.3	1	0.05

	がん発見数	がん発見率	がん疑数
	D(人)	D/A(%)	E(人)
26年度	1	0.04	4
27年度	1	0.04	0
28年度	3	0.14	1
29年度	1	0.05	2
30年度	0	0.00	6

7) 人間ドック

平成30年度合志市人間ドック受診者数は、次のとおりとなっている。図1は、各種ドック年度別受診者数推移を表している。表2.は年齢別の各種ドック受診者数を表している。

日帰りドック標準コース人(内、日帰りドック標準コース241人、日帰りドックBコース35人、日帰りドックCコース10人)、通院2日ドックコース4人となっている。

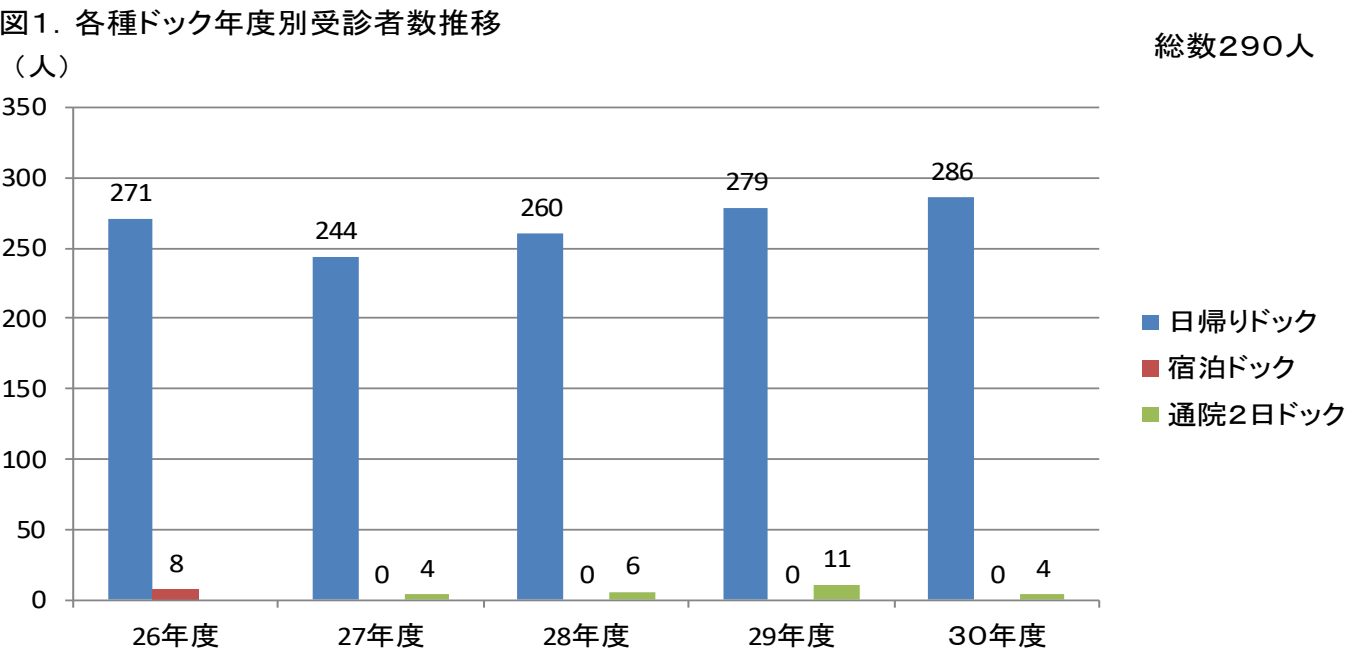


表2. (人)

	日帰りドック標準	日帰りドックB	日帰りドックC	通院2日ドック	計
75歳未満	181	42	13	11	247
75歳以上	34	6	3	0	43

8) 肝炎ウイルス検査

平成30年度の肝炎ウイルス検査受診総数は6人であった。
年度及び年齢別受診者数を表1に示す。
昨年と比べると受診者は6人減少している。

表1. 肝炎ウイルス検査 年度及び年齢別受診者数 (人)

年齢	肝炎検査									
	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	健診時	二次健診	健診時	二次健診	健診時	二次健診	健診時	二次健診	健診時	二次健診
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41～69歳	1	4	7	0	8	0	11	2	6	0
70歳以上	0	2	1	3	0	0	1	0	0	0
小計	1	6	8	3	8	0	12	2	6	0
合計	7		11		8		14		6	

※平成30年4月1日時点での年齢とする。

9)精密検査受診状況

精検受診率は生活習慣病健診44.0%、特定健診57.9%、後期高齢者健診57.3%、人間ドック85.4%となっている。住民健診全体の精検受診率を上げていくことが課題である。

人間ドック受診者の精検受診率を向上させるには、これまで同様当日の説明時に受診勧奨を確実にやっていく必要があると考える。

生活習慣病健診		血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行		0	14	2	3	1	4	11	13	2	50
受診済み		0	4	1	1	1	0	4	10	1	22
精密受診率(%)		0.0	28.6	50.0	33.3	100.0	0.0	36.4	76.9	50.0	44.0
受診済み内訳	異常なし	0	3	0	1	0	0	0	0	0	
	経過観察	0	0	0	0	0	0	2	9	1	
	要治療	0	0	1	0	1	0	2	1	0	
	治療中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	

特定健診		血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行		49	66	82	91	70	8	30	170	26	592
受診済み		30	37	52	38	46	7	15	98	20	343
精密受診率(%)		61.2	56.1	63.4	41.8	65.7	87.5	50.0	57.6	76.9	57.9
受診済み内訳	異常なし	4	3	3	2	1	0	4	7	9	
	経過観察	16	31	34	14	31	3	4	81	5	
	要治療	9	1	2	20	10	4	5	5	4	
	治療中	1	1	13	2	4	0	2	5	1	
	不明	0	1	0	0	0	0	0	0	1	

後期高齢者健診		血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行		14	17	73	30	42	5	8	112	6	307
受診済み		4	11	42	13	24	3	3	71	5	176
精密受診率(%)		28.6	64.7	57.5	43.3	57.1	60.0	37.5	63.4	83.3	57.3
受診済み内訳	異常なし	0	1	3	1	2	0	0	12	2	
	経過観察	1	7	23	5	14	0	2	43	2	
	要治療	2	1	8	7	6	1	1	6	0	
	治療中	1	1	6	0	2	1	0	6	1	
	不明	0	1	2	0	0	1	0	4	0	

人間ドック		血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	胃	大腸	呼吸器	合計
紹介状発行		6	14	14	18	20	2	12	9	7	10	3	8	123
受診済み		4	12	12	14	17	2	10	7	7	9	3	8	105
精密受診率(%)		66.7	85.7	85.7	77.8	85.0	100.0	83.3	77.8	100.0	90.0	100.0	100.0	85.4
受診済み内訳	異常なし	0	4	0	1	1	0	5	0	4	0	0	3	
	経過観察	0	7	5	5	14	1	3	4	2	1	0	2	
	要治療	3	0	4	8	1	1	1	0	1	6	3	1	
	治療中	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	1	1	1	1	1	0	1	3	0	2	0	2	

3. 生活習慣病予防健診(協会けんぽ)

平成30年度の生活習慣病予防健診の受診者数は次のとおりとなっている。

図1は年度別受診者数、図2は年齢・男女別受診者数を表している。

また、新規事業所の確保にも努め、昨年と比較すると286人増加している。

なお、図3で示すように、昨年と変わらず、全体の約30%の方が胃検査を受けていない現状である。今後、未受診の理由を把握し、受診率向上の対策を検討していく必要がある。

図1.年度別受診者数

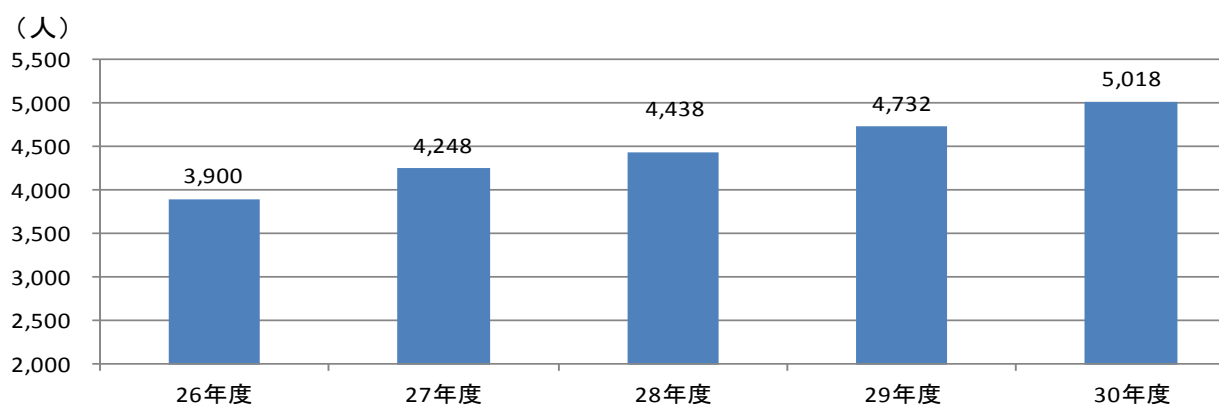


図2.年齢・男女別受診者数

総数 5,018人

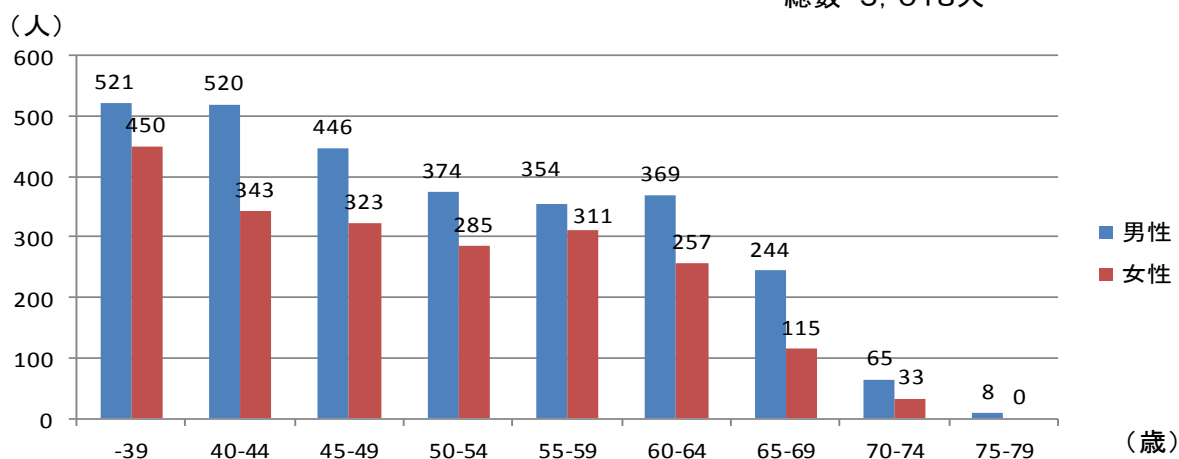
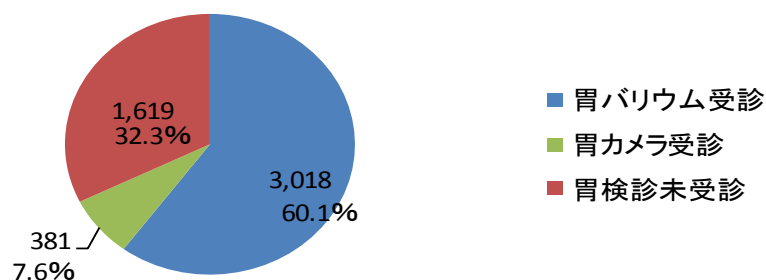


図3.胃検診受診状況

総数 5,018人



4. 協会けんぽ肝炎ウイルス検査

平成30年度の肝炎ウイルス検査受診者総数は136人である。
年度及び年齢別受診者数を表1に示す。

例年と比較すると倍増しているが、協会けんぽの人間ドック受診者が増加したためと考えられる。

表1.年度及び年齢別受診者数 (人)

年齢	28年度			29年度			30年度		
	健診時	人間ドック	二次健診	健診時	人間ドック	二次健診	健診時	人間ドック	二次健診
35-39歳	1	2	3	0	1	2	3	3	3
40-44歳	0	6	1	0	4	1	2	9	1
45-49歳	1	8	2	2	4	1	3	14	2
50-54歳	1	7	0	0	4	0	3	15	2
55-59歳	1	11	1	1	15	1	3	23	5
60-64歳	1	12	0	1	12	1	3	16	2
65-69歳	1	6	0	0	7	2	0	17	2
70-74歳	0	1	0	0	1	0	0	5	0
75歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	6	53	7	4	48	8	17	102	17
合計	66			60			136		

※平成31年3月31日時点での年齢とする。

5. 被扶養者特定健診

平成30年度の被扶養者特定健診受診者数は次のとおりとなっている。
例年、全国健康保険協会熊本支部より、菊池市、合志市の健診に合わせて、各個人にパンフレットを郵送している。

図1.年度別受診者数
(人)

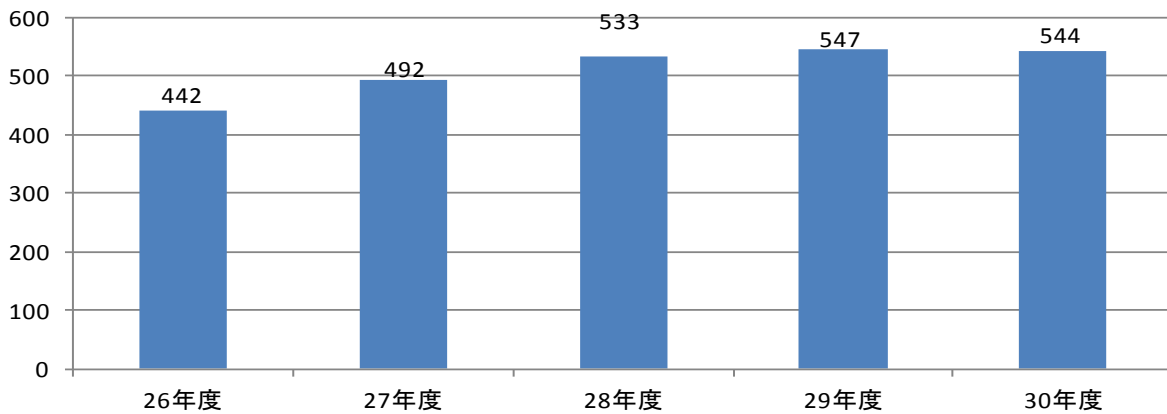


図2.年齢・男女別受診者数

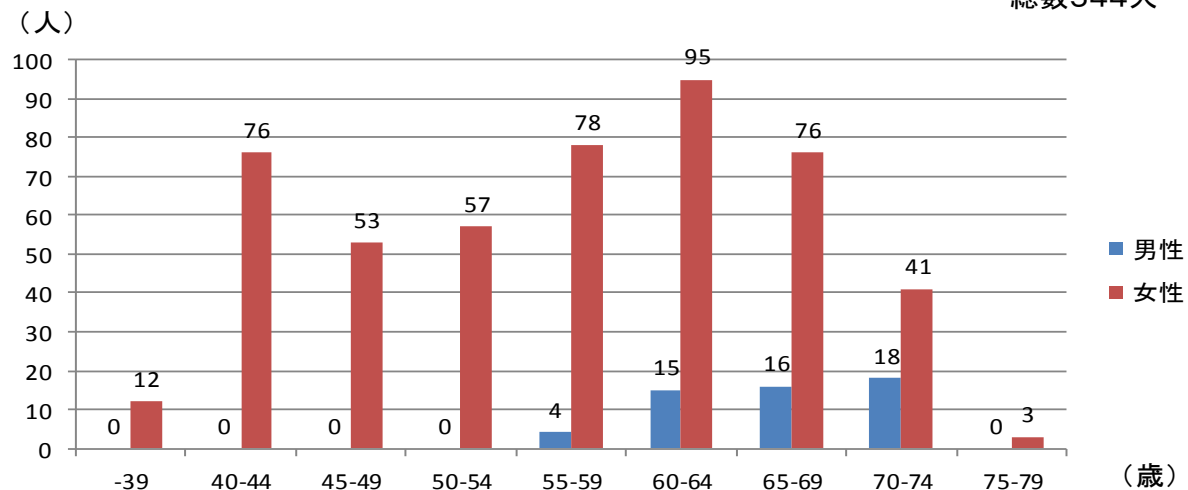
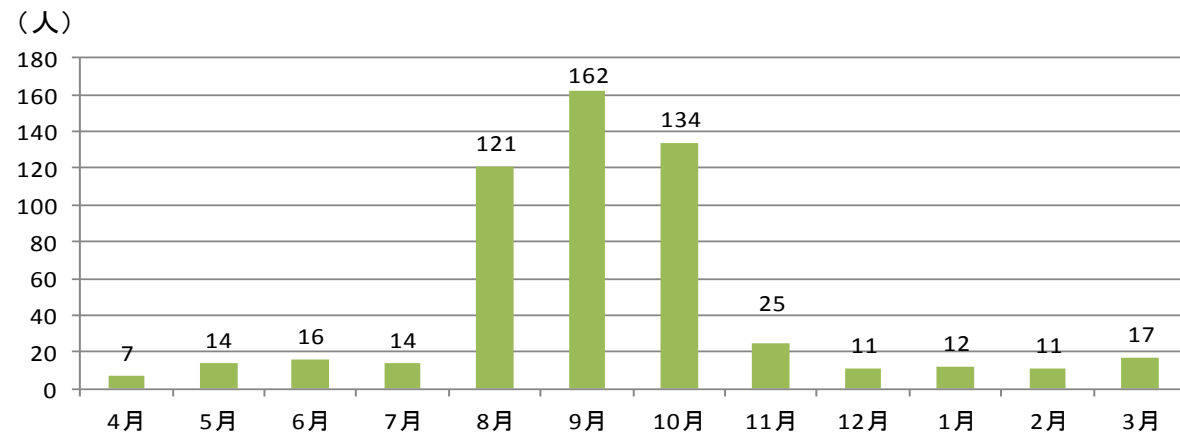


図3.被扶養者特定健診(月別分布)



6. 労働安全衛生法に基づく定期健康診断

平成30年度の労働安全衛生法に基づく定期健康診断受診者数は、次のとおりとなっている。

下記の図1は年度別の受診者数、図2は男女・年齢別の受診者数、図3は月別の受診者数を表している。

また、9月は菊池市(施設内)と合志市(施設外)の住民健診の実施及びホンダ健康保険組合の事業所への外勤があったため受診者数が少なくなっている。

昨年度より深夜業務健診は別に受診者数を出している。

図1.労働安全衛生法に基づく定期健康診断(年度別)

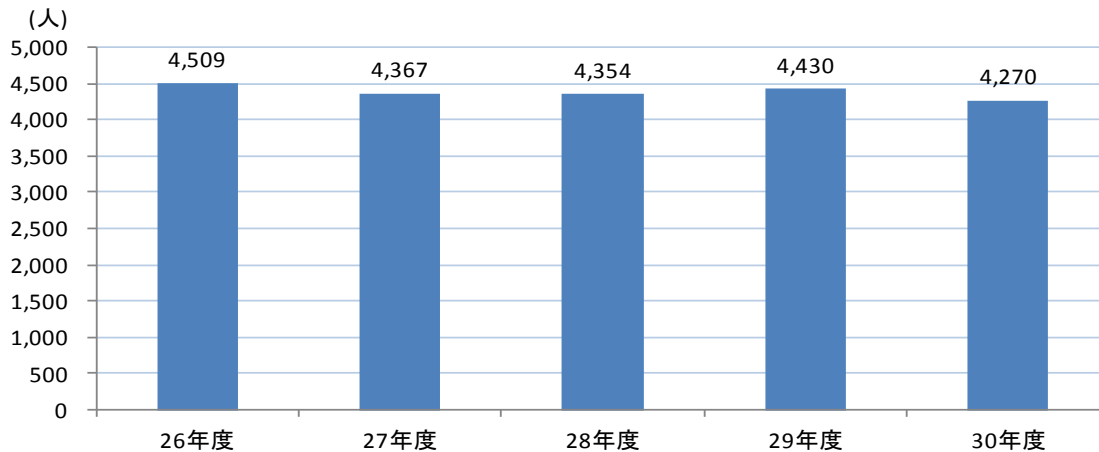


図2.労働安全衛生法に基づく定期健康診断(年齢分布)

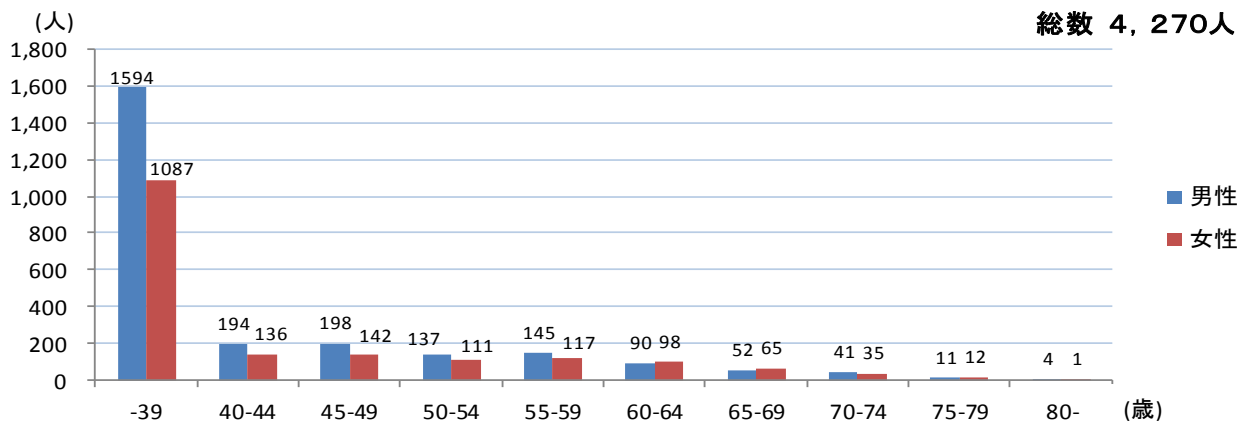
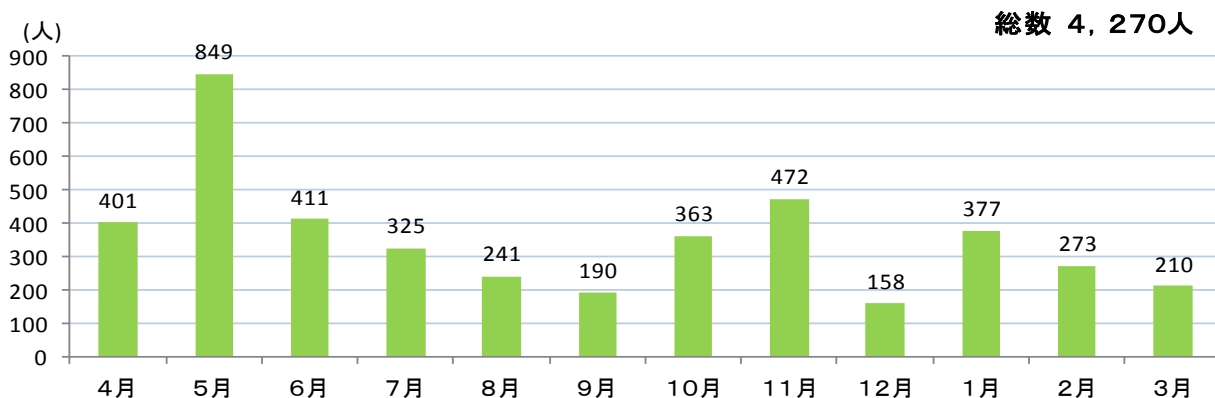


図3.労働安全衛生法に基づく定期健康診断(月別分布)



7. ホンダ健康保険組合健診

平成30年度のホンダ健康保険組合健診受診者数は、次のとおりとなっている。

下記の図1は年度別の受診者数、図2は男女・年齢別の受診者数、図3は月別の受診者数を表している。

昨年より48名増加している。

図1.ホンダ健康保険組合健診(年度別)

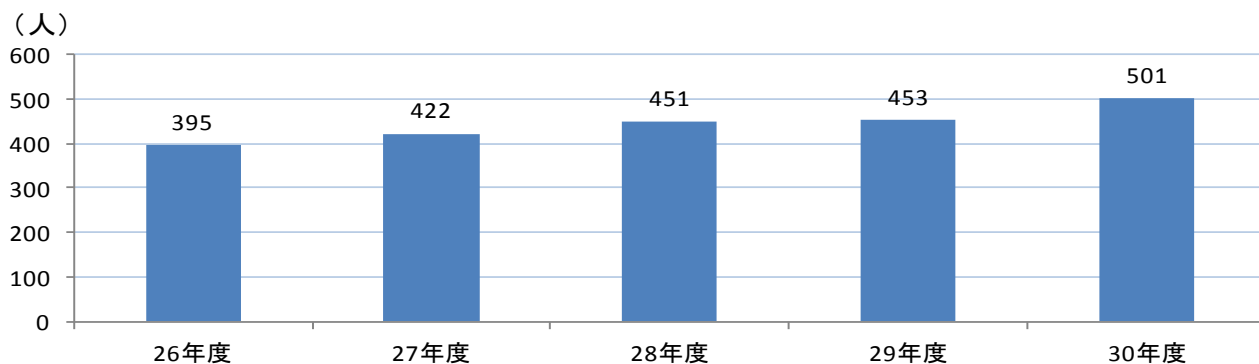


図2.ホンダ健康保険組合健診(年齢分布)

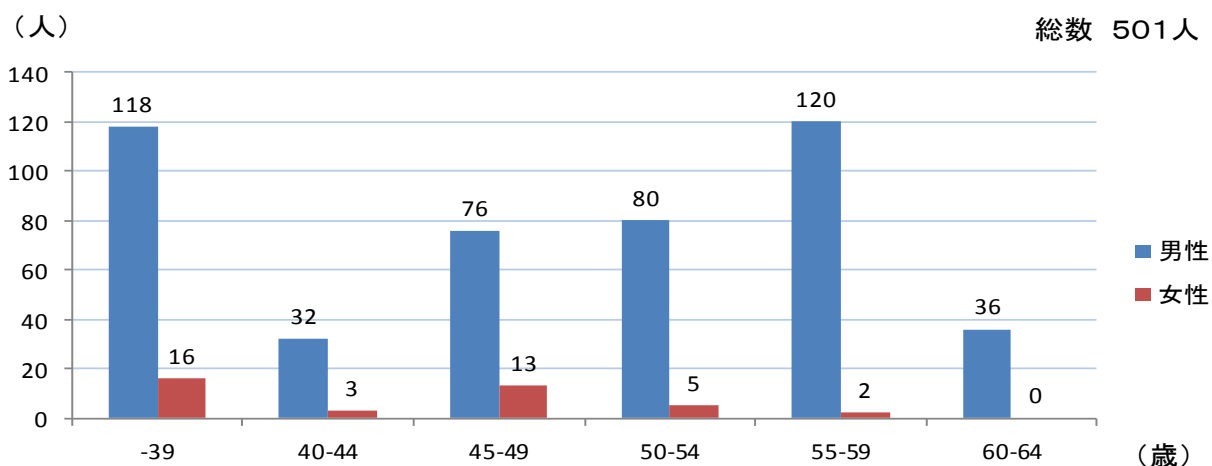
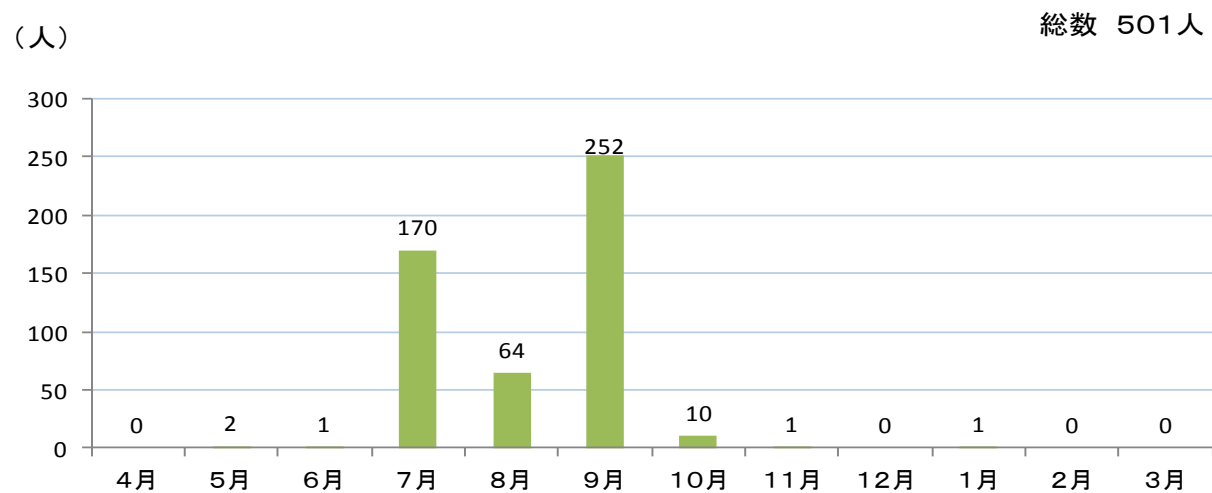


図3.ホンダ健康保険組合健診(月別分布)

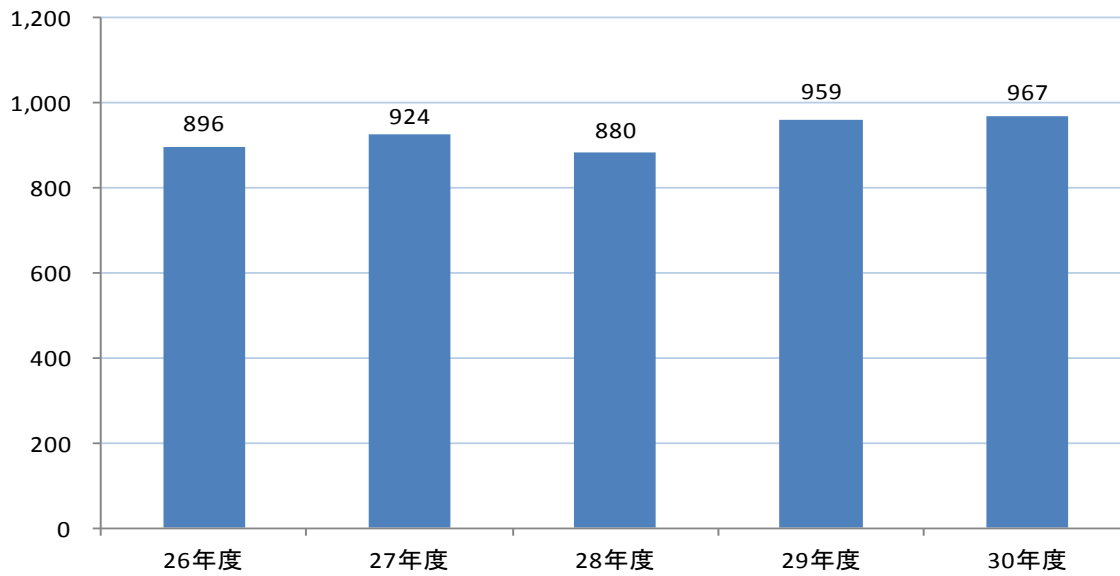


8.深夜業務健診

平成30年度の深夜業務健診受診者数は、次のとおりとなっている。
下記の図1は年度別の受診者数を表している。

図1.深夜業務健診(年度別分布)

(人)



9. その他の人間ドック

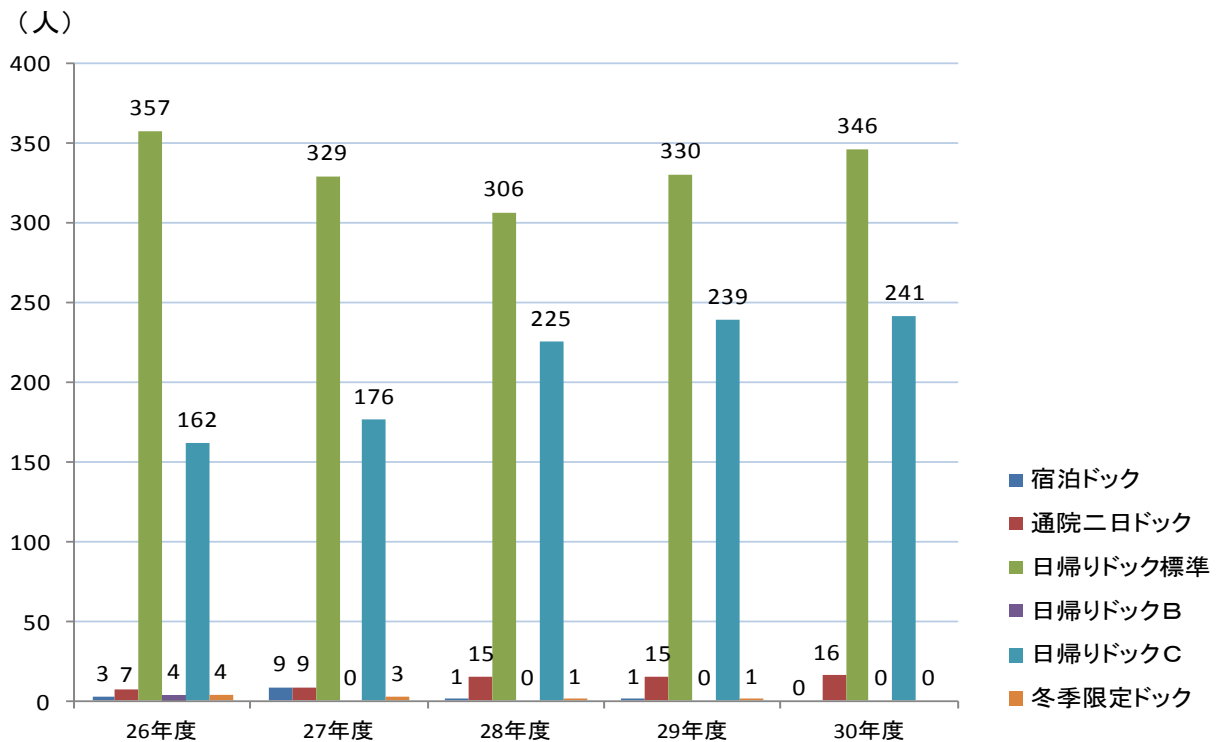
平成26年度～30年度の菊池市住民と合志市住民を省いた、人間ドックの受診者数は次のとおりとなっている。

図1は人間ドックのコース別の受診者数となっている。

平成27年度より、Aコースの名称を標準コースに改め、胃検査はX線撮影を基本とし、別途3,000円(消費税8%込)追加により内視鏡を選択できるようにした。また、大腸カメラをオプション検査とし内臓脂肪CT、頸動脈エコーを追加した。

日帰りドック標準、日帰りドックCの増加は、公立学校共済、地方職員共済をはじめ、各企業のドック受診者の増加によるものと考えられる。

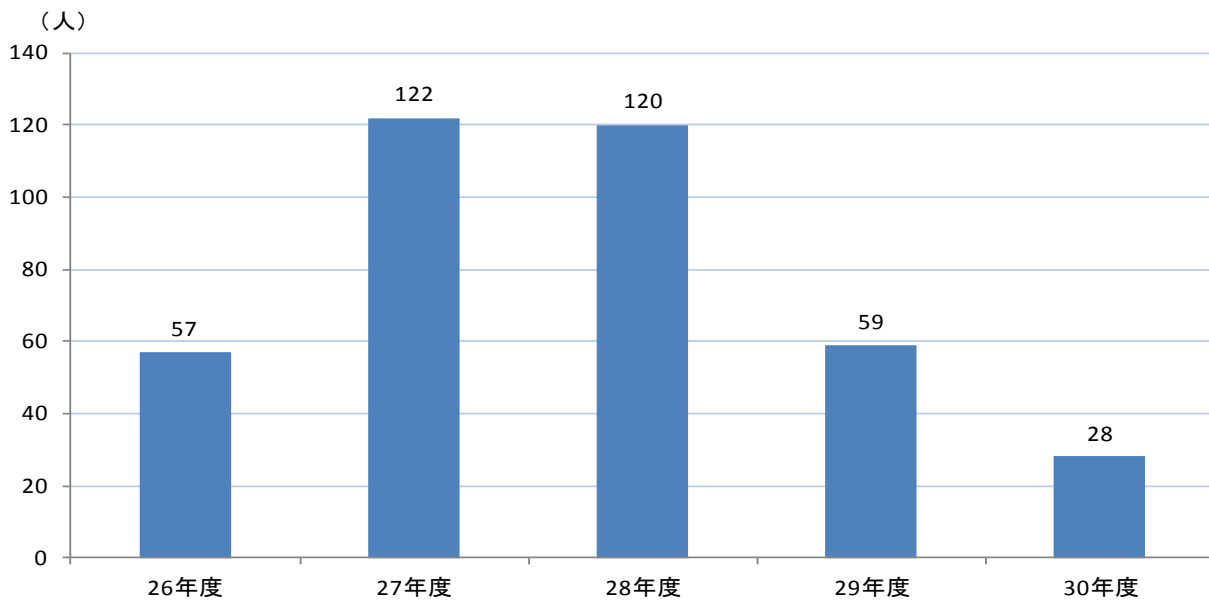
図1.その他の人間ドック



10.過重労働健診

1)年度別受診者数

平成30年度の過重労働健診受診者数は、次のとおりとなっている。



2)健診判定区分内訳

判定区分の結果、就業制限などの指示者へは、事業所担当者と連携しながら、保健指導を継続していく必要がある。

判定区分別内訳

(人)

診断区分	異常なし	要観察	要医療
	19	9	0
就業区分	通常勤務	就業制限	要休業
	19	9	0
指導区分	指導不要	要保健指導	要医療指導
	28	0	0

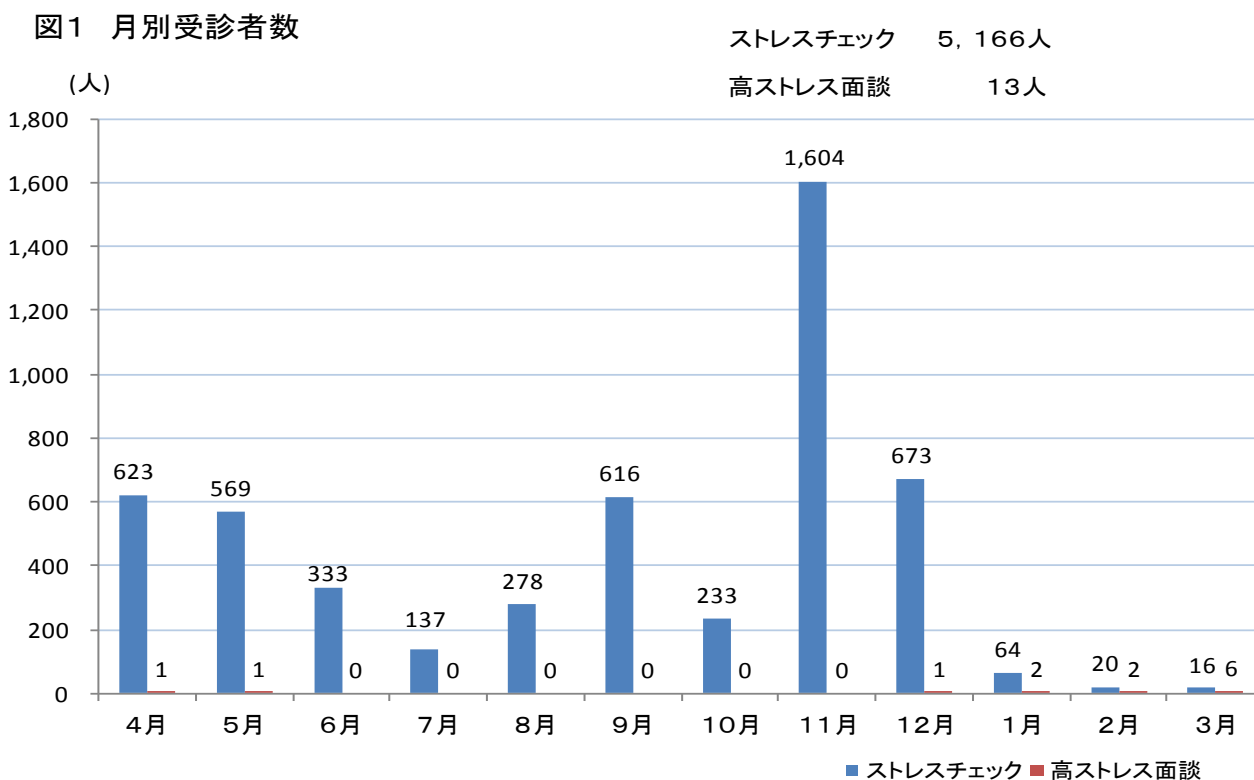
11. ストレスチェック

労働者のストレスの状況について、検査(問診)を行い、本人にその結果を通知して、自らのストレスの状況について気づきを促し、本人のストレスを低減させると共に、集団分析を行うことで、職場環境の改善につなげる取組みとして平成27年12月より始まった。

平成30年度では、43企業が取組み5,166人にストレスチェックを実施し、うち高ストレス者は671人で、全体の13.0%を占める。また、13人が高ストレス面談を受診している。

高ストレス面談は、芹川医師が毎週月曜日の14時30分、15時30分の2回行う。

図1は月別の受診者数、表1は実施事業所一覧となっている。

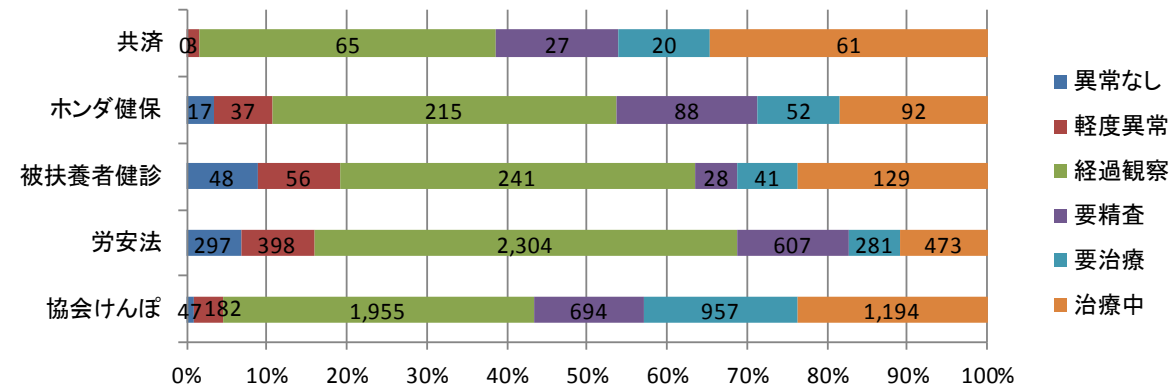


12. 健診判定内訳

1) 健保別総合判定の状況

企業で働いている方の定期健康診断の結果である。加入している健保別に集計を行った。
全体的な総合判定の結果をみると、異常なしは3.9%と低く、経過観察が45.1%を占めている。

	異常なし	軽度異常	経過観察	要精査	要治療	治療中	合計	性別内訳	
								男性	女性
協会けんぽ	47	182	1,955	694	957	1,194	5,029	2,989	2,040
労安法	297	398	2,304	607	281	473	4,360	2,465	1,895
被扶養者健診	48	56	241	28	41	129	543	53	490
ホンダ健保	17	37	215	88	52	92	501	462	39
共済	0	3	65	27	20	61	176	105	71
合計	409	676	4,780	1,444	1,351	1,949	10,609	6,074	4,535
判定別割合	3.9	6.4	45.1	13.6	12.7	18.4	100.0		



2) 有所見状況

全体的な有所見状況を見てみると、LDLコレステロールの有所見率が高い。次いで、空腹時血糖、収縮期血圧であった。29年度と比較しても、LDLコレステロールは5.1%、空腹時血糖は11.3%上昇している。BMIの有所見者も27.9%を占めており、特定保健指導と合わせて取り組んでいくことで効果的に動脈硬化を予防する働きかけができると思われる。

総数	摂取エネルギーの過剰						動脈硬化要因	
	BMI		腹囲		中性脂肪		LDLコレステロール	
	25以上		男85・女90cm以上		150以上		120以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
協会けんぽ	1,519	30.2	1,812	36.0	1,094	21.8	2,787	55.4
労安法	1,146	26.3	607	13.9	591	13.6	1,737	39.8
被扶養者健診	103	19.0	98	18.0	61	11.2	326	60.0
ホンダ健保	141	28.1	146	29.1	119	23.8	252	50.3
共済	53	30.1	65	36.9	41	23.3	103	58.5
合計	2,962	27.9	2,728	25.7	1,906	18.0	5,205	49.1

総数	血管を傷つける							
	空腹時血糖		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧	
	100以上		7.1以上		130以上		85以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
協会けんぽ	2,710	53.9	727	14.5	1,839	36.6	1,238	24.6
労安法	1,328	30.5	167	3.8	1,098	25.2	582	13.3
被扶養者健診	197	36.3	4	0.7	170	31.3	64	11.8
ホンダ健保	191	38.1	117	23.4	196	39.1	139	27.7
共済	89	50.6	27	15.3	46	26.1	38	21.6
合計	4,515	42.6	1,042	9.8	3,349	31.6	2,061	19.4

3)男女別有所見状況

男性と女性を比較してみると男性に腹囲の有所見率が高い。また、男性においてLDLコレステロールや空腹時血糖、収縮期血圧など全体的に有所見率が高く、動脈硬化が進みやすいと考えられる。働き盛りの男性が虚血性心疾患などを予防できるように特定保健指導などで保健指導を行っていきたい。

男性	摂取エネルギーの過剰						動脈硬化要因	
	BMI		腹囲		中性脂肪		LDLコレステロール	
	25以上		男85・女90cm以上		150以上		120以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
協会けんぽ	1,076	36.0	1,468	49.1	892	29.8	1,716	57.4
労安法	799	32.4	464	18.8	469	19.0	1,060	43.0
被扶養者健診	13	24.5	28	52.8	13	24.5	34	64.2
ホンダ健保	133	28.8	140	30.3	115	24.9	237	51.3
共済	39	37.1	54	51.4	35	33.3	65	61.9
合計	2,060	33.9	2,154	35.5	1,524	25.1	3,112	51.2

男性	血管を傷つける							
	空腹時血糖		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧	
	100以上		7.1以上		130以上		85以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
協会けんぽ	1,870	62.6	696	23.3	1,321	44.2	975	32.6
労安法	912	37.0	163	6.6	833	33.8	439	17.8
被扶養者健診	37	69.8	1	1.9	33	62.3	12	22.6
ホンダ健保	186	40.3	116	25.1	187	40.5	132	28.6
共済	64	61.0	26	24.8	36	34.3	30	28.6
合計	3,069	50.5	1,002	16.5	2,410	39.7	1,588	26.1

女性	摂取エネルギーの過剰						動脈硬化要因	
	BMI		腹囲		中性脂肪		LDLコレステロール	
	25以上		男85・女90cm以上		150以上		120以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
協会けんぽ	443	21.7	344	16.9	202	9.9	1,071	52.5
労安法	347	18.3	143	7.5	122	6.4	677	35.7
被扶養者健診	90	18.4	70	14.3	48	9.8	292	59.6
ホンダ健保	8	20.5	6	15.4	4	10.3	15	38.5
共済	14	19.7	11	15.5	6	8.5	38	53.5
合計	902	19.9	574	12.7	382	8.4	2,093	46.2

女性	血管を傷つける							
	空腹時血糖		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧	
	100以上		7.1以上		130以上		85以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
協会けんぽ	840	41.2	31	1.5	518	25.4	263	12.9
労安法	416	22.0	4	0.2	265	14.0	143	7.5
被扶養者健診	160	32.7	3	0.6	137	28.0	52	10.6
ホンダ健保	5	12.8	1	2.6	9	23.1	7	17.9
共済	25	35.2	1	1.4	10	14.1	8	11.3
合計	1,446	31.9	40	0.9	939	20.7	473	10.4

4)その他の健診 紹介状回答状況

企業健診の精密検査受診率は、がん検診項目は 71.1%、生活習慣病項目は51.7%となっている。28年度より、がん検診項目と腎機能検査にて精密検査依頼書が出ている方には結果発送から2ヶ月後に電話にて受診勧奨を行ってきた。がん検診項目の精検受診率は前年度より2.9%低くなった。これはホンダ健保が30年度より二次検診がなくなっており精検受診率が低下していることが影響していると考えられる。このため、ホンダ健保の方への受診勧奨を強化していく必要があると考える。また、生活習慣病健診項目については、依然精検受診率が低いいため今後どのように受診勧奨を行っていくのか検討が必要と考える。

図1. 健保別 要精密・要治療者受診率

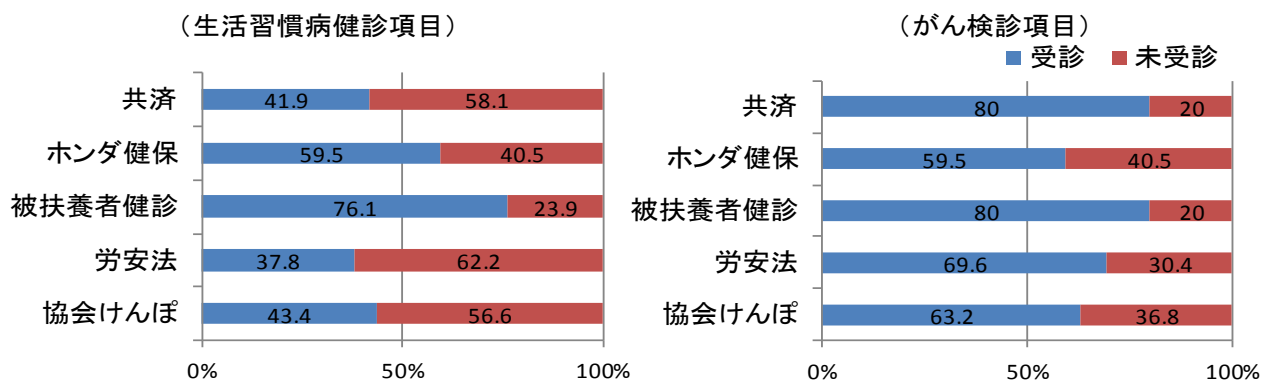


図1-a. 健保別 血圧要治療者受診者数、受診率

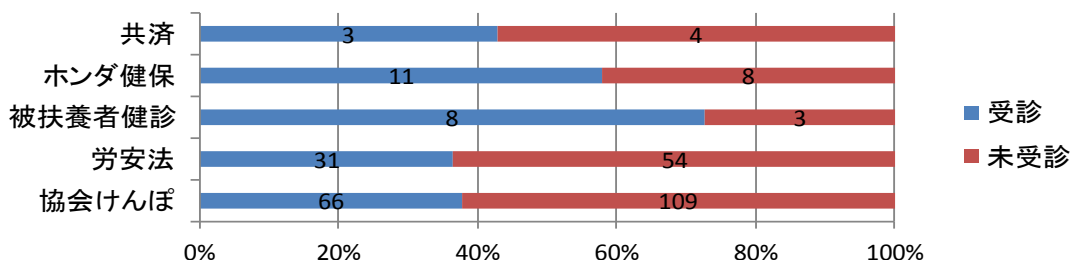


図1-b. 健保別 腎機能精密・要治療者受診者数、受診率

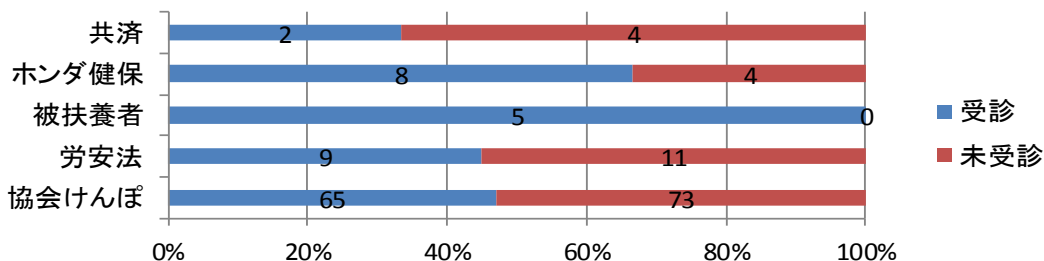


図1-c. 健保別 糖代謝精密・要治療者受診者数、受診率

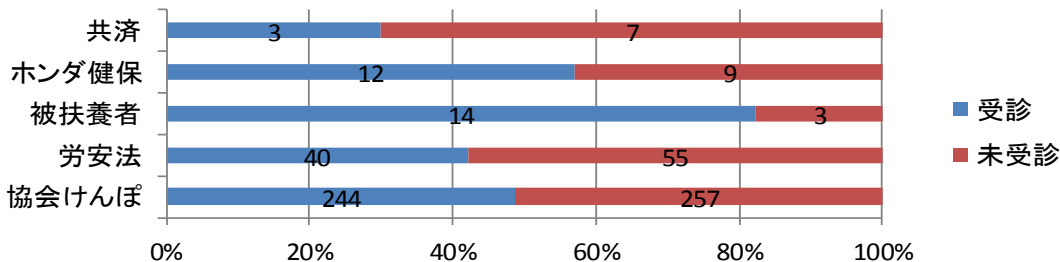


図2. 要精密・要治療受診率の推移

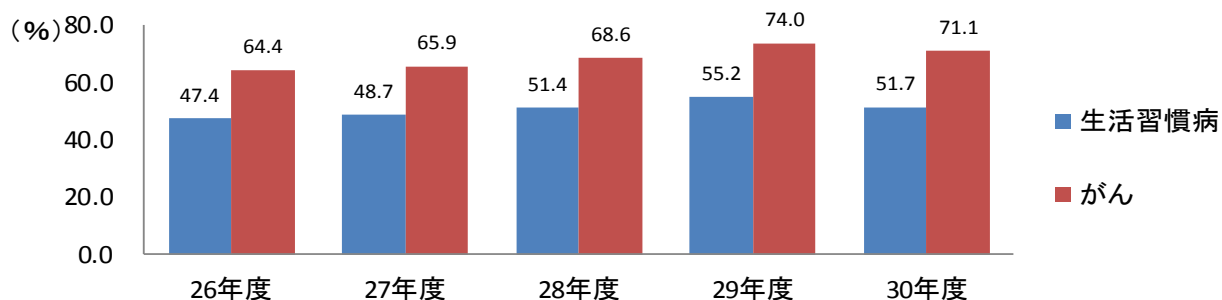


図2-a. 健保別 血圧要治療者受診率の推移

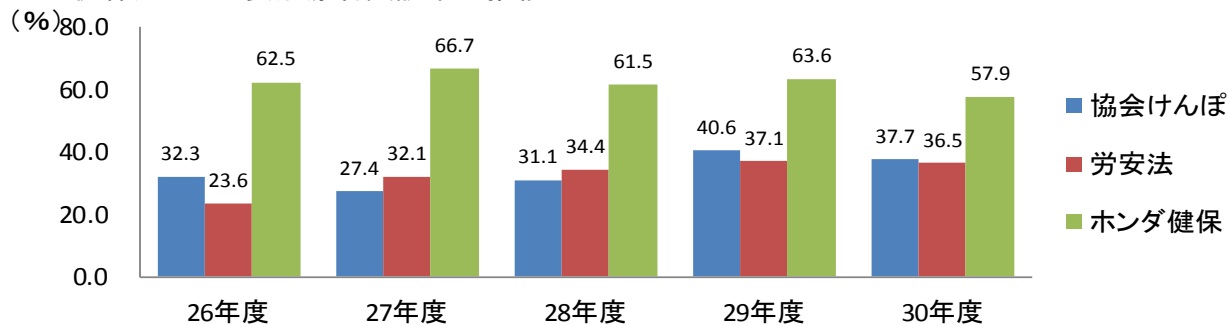


図2-b. 健保別 腎機能要精密者受診率の推移

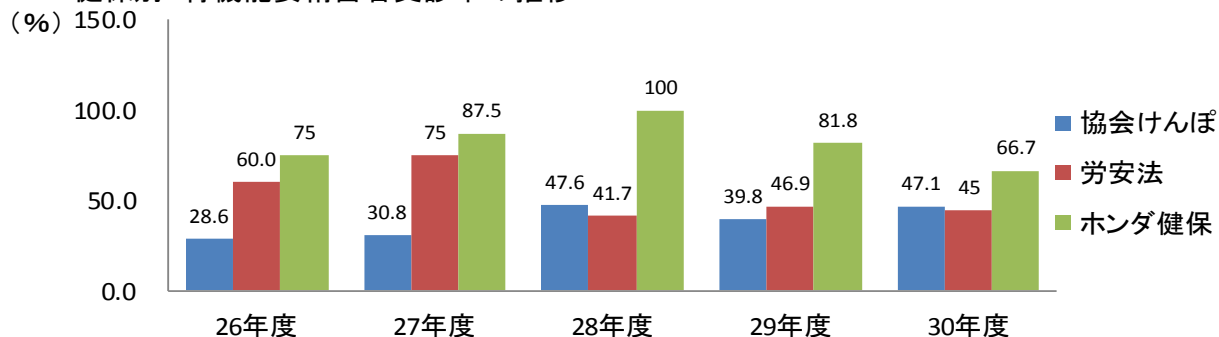


図2-c. 健保別 糖代謝要精密・要治療者受診率の推移

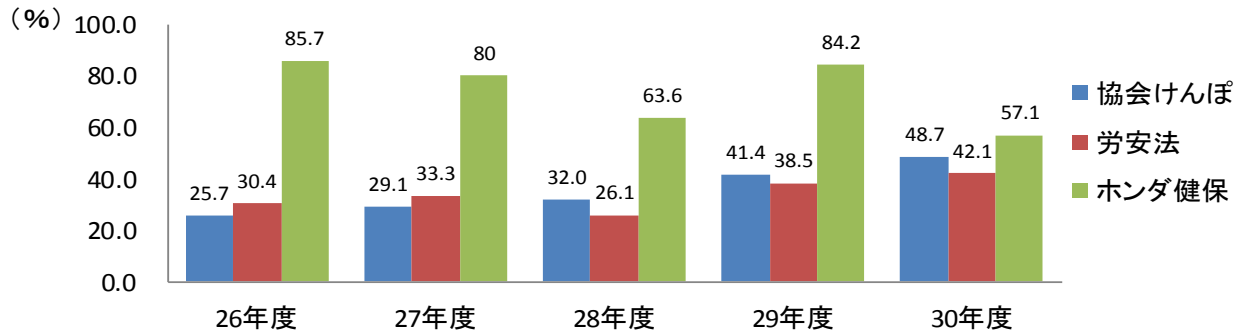


図2-d. 健保別 便潜血要精密・要治療者受診率の推移

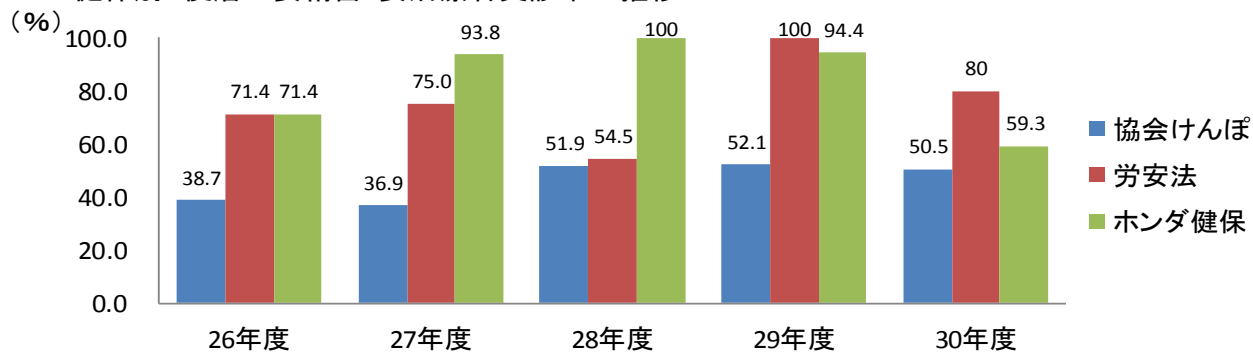


表1. その他の健診 紹介状回答状況

協会けんぽ	血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行	175	577	138	568	501	232	322	426	47	2,986
受診済み	66	243	65	209	244	75	160	208	25	1,295
精密受診率(%)	37.7	42.1	47.1	36.8	48.7	32.3	49.7	48.8	53.2	43.4
異常なし	1	27	8	11	32	4	35	63	10	
経過観察	23	161	32	106	134	25	62	109	5	
要治療	35	28	7	85	42	27	44	11	8	
治療中	2	8	11	7	10	7	6	9	0	
不明(検査中)	5	18	7	18	26	11	13	15	2	
協会けんぽ	便潜血	MDL	胸部X線	腹部超音波	乳房超音波	子宮細胞診	PSA			合計
紹介状発行	194	61	64	22	11	10	10			372
受診済み	98	43	50	16	11	8	9			235
精密受診率(%)	50.5	70.5	78.1	72.7	100	80	90			63.2
異常なし	27	10	24	2	1	5	0			
経過観察	32	18	18	11	8	3	7			
要治療	30	10	3	3	2	0	1			
治療中	1	0	2	0	0	0	0			
不明(検査中)	8	5	3	0	0	0	1			
労安法	血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行	85	356	20	193	95	12	277	188	16	1,242
受診済み	31	114	9	56	40	3	115	92	10	470
精密受診率(%)	36.5	32	45	29	42.1	25	41.5	48.9	62.5	37.8
異常なし	2	18	1	2	3	0	44	30	4	
経過観察	11	75	5	37	19	0	32	49	3	
要治療	15	6	1	15	9	2	24	7	3	
治療中	1	5	2	0	6	1	7	2	0	
不明(検査中)	2	7	0	2	3	0	8	4	0	
労安法	便潜血	MDL	胸部X線	腹部超音波	乳房超音波	子宮細胞診	PSA			合計
紹介状発行	10	3	20	24	1	8	3			69
受診済み	8	3	17	12	0	5	3			48
精密受診率(%)	80	100	85	50	0	62.5	100			69.6
異常なし	2	0	12	3	0	0	0			
経過観察	3	3	5	6	0	4	2			
要治療	3	0	0	1	0	1	1			
治療中	0	0	0	1	0	0	0			
不明(検査中)	0	0	0	1	0	0	0			

被扶養者健診	血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行	11	19	5	30	17	0	10	11	6	109
受診済み	8	17	5	22	14	0	4	8	5	83
精密受診率(%)	72.7	89.5	100	73.3	82.4	0	40	72.7	83.3	76.1
異常なし	0	2	0	1	1	0	0	3	2	
経過観察	3	11	4	10	7	0	2	3	2	
要治療	2	4	0	11	6	0	2	0	1	
治療中	2	0	1	0	0	0	0	0	0	
不明(検査中)	1	2	0	1	0	0	0	2	0	
被扶養者健診	便潜血	MDL	胸部X線	腹部超音波	乳房超音波	子宮細胞診	PSA			合計
紹介状発行	1	1	1	0	0	0	2			5
受診済み	0	1	1	0	0	0	2			4
精密受診率(%)	0	100	100	0	0	0	100			80.0
異常なし	0	1	0	0	0	0	0			
経過観察	0	0	1	0	0	0	1			
要治療	0	0	0	0	0	0	1			
治療中	0	0	0	0	0	0	0			
不明(検査中)	0	0	0	0	0	0	0			
ホンダ健保	血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行	19	72	12	31	21	10	44	6	0	215
受診済み	11	48	8	20	12	2	23	4	0	128
精密受診率(%)	57.9	66.7	66.7	64.5	57.1	20	52.3	66.7	0	59.5
異常なし	0	5	1	0	0	0	12	1	0	
経過観察	5	36	4	9	6	1	6	2	0	
要治療	5	3	0	9	4	1	1	0	0	
治療中	0	1	3	1	1	0	3	0	0	
不明(検査中)	1	3	0	1	0	0	1	1	0	
ホンダ健保	便潜血	MDL	胸部X線	腹部超音波	乳房超音波	子宮細胞診	PSA			合計
紹介状発行	27	2	5	0	0	1	0			35
受診済み	16	1	5	0	0	0	0			22
精密受診率(%)	59.3	50	100	0	0	0	0			62.9
異常なし	5	1	5	0	0	0	0			
経過観察	5	0	0	0	0	0	0			
要治療	6	0	0	0	0	0	0			
治療中	0	0	0	0	0	0	0			
不明(検査中)	0	0	0	0	0	0	0			
共済ドック	血圧	肝機能	腎機能	脂質	糖代謝	尿酸	血液一般	尿検査	心電図	合計
紹介状発行	7	25	6	9	10	4	11	1	1	74
受診済み	3	13	2	5	3	2	2	0	1	31
精密受診率(%)	42.9	52	33.3	55.6	30	50	18.2	0	100	41.9
異常なし	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
経過観察	2	9	2	3	0	1	0	0	0	
要治療	1	1	0	2	1	0	1	0	0	
治療中	0	1	0	0	1	0	1	0	0	
不明(検査中)	0	2	0	1	0	1	0	0	0	
共済ドック	便潜血	MDL	胸部X線	腹部超音波	乳房超音波	子宮細胞診	PSA			合計
紹介状発行	5	2	3	3	0	0	2			15
受診済み	4	2	3	2	0	0	1			12
精密受診率(%)	80	100	100	67	0	0	50			80.0
異常なし	3	1	3	0	0	0	0			
経過観察	1	1	0	1	0	0	1			
要治療	0	0	0	0	0	0	0			
治療中	0	0	0	0	0	0	0			
不明(検査中)	0	0	0	1	0	0	0			

IV. 保健指導

1. 菊池市

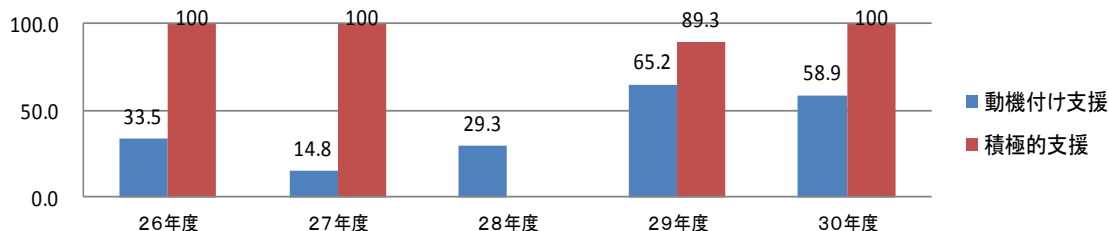
1) 特定保健指導

菊池市の特定保健指導については、29年度より、積極的支援、動機づけ支援いずれも重症化を除く対象者すべてに受診勧奨を行っている。対象ごとに担当を決め、速やかに連絡し、時期に応じて体組成測定を受診を案内するなど、対象者が興味関心をもって面談を受けやすい体制を整えたことが実施率向上につながったと考える。

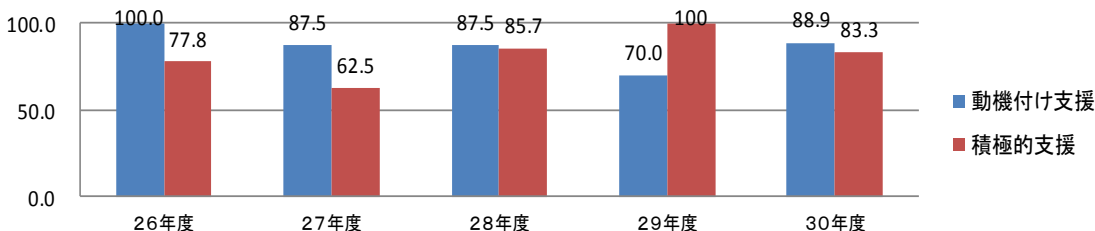
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
特定保健指導	対象者総数(人)	274	246	246	190	196
特定保健指導	実施者総数(人)	106	57	72	133	134
特定保健指導	実施率(%)	38.7	23.2	29.3	70.0	68.4

コース	階層化判定	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
特定健診	積極的	対象者数(人)	1	7	28	34
		受診者数(人)	1	7		
		実施率(%)	100.0	100.0		
	動機づけ	対象者数(人)	248	210	132	129
		受診者数(人)	83	31	86	76
		実施率(%)	33.5	14.8	65.2	58.9
人間ドック	積極的	対象者数(人)	9	8	7	6
		受診者数(人)	7	5	6	5
		実施率(%)	77.8	62.5	85.7	83.3
	動機づけ	対象者数(人)	5	8	10	9
		受診者数(人)	5	7	7	8
		実施率(%)	100.0	87.5	70.0	88.9
厚生連ドック	積極的	対象者数(人)	3	3	1	4
		受診者数(人)	2	0	1	2
		実施率(%)	66.7	0.0	100.0	50.0
	動機づけ	対象者数(人)	8	10	11	4
		受診者数(人)	8	7	5	4
		実施率(%)	100.0	70.0	45.5	100.0
他機関	積極的	対象者数(人)			2	8
		受診者数(人)			1	3
		実施率(%)			50.0	37.5
	動機づけ	対象者数(人)			7	2
		受診者数(人)			4	2
		実施率(%)			57.1	100.0

特定健診 特定保健指導 実施率(%)



人間ドック 特定保健指導 実施率(%)



2) 健康づくり支援事業

いきいきトレ活クラブは菊池市民が広く健康づくりに関心を寄せ、取り組み始めるきっかけになることを主な目的に「ジョギング&ウォーキングセミナー」、「持久力アップセミナー」や、フットパス協議会主催のフットパスでの運動指導等を行った。今後も、市民が自主的に継続した健康づくりに取り組む環境づくりを推進したい。

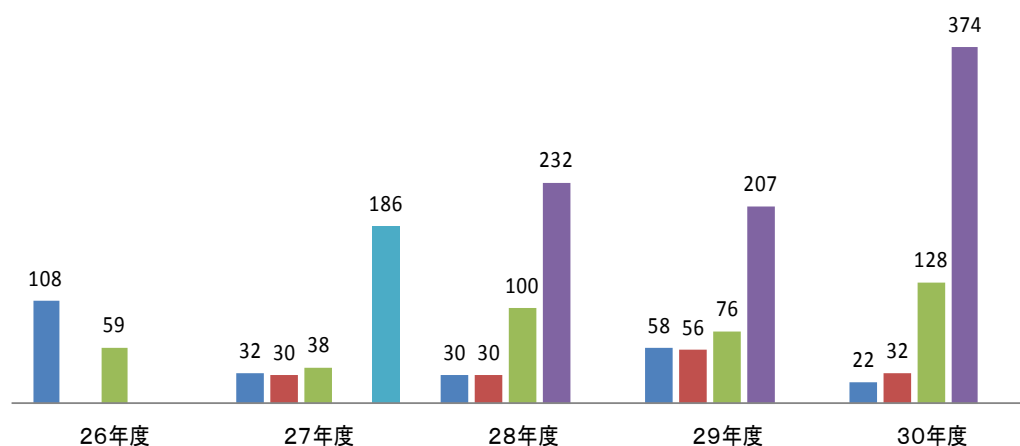
また、地区公民館などを拠点として健康づくりを行っているグループに対して、今年度より体組成測定機器を用いて、筋肉量や体脂肪率の評価を行った。日頃の健康づくりが数値化されることで、取り組みに対するモチベーションの向上が見られたことから、今後も根拠に基づき効果的に体力、筋力が向上する健康づくり支援を継続していきたい。

(人)

教室名	事業目的	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
いきいき養生塾	メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病、転倒骨折を予防する、基本的な知識や方法を習得を目指す。	108	32	30	58	22
血糖下げようセミナー	糖尿病の予防と改善			30	56	32
いきいきトレ活クラブ	健康づくりに繋がる運動や食事の取り組みの継続や、地域の自主的な健康づくりコミュニティの形成を目指す。	59	38	100	76	128
ネットワーク会員サポート活動				232	207	374
いきいきセミナー			186			
合計		167	256	392	397	556

＜ 参加者の推移 ＞

■ いきいき ■ 血糖下げようセミナー ■ トレ活クラブ ■ ネットワーク会員サポート活動 ■ いきいきセミナー



3) 人間ドックの健康相談

(人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
指導者数	83	78	68	73	76

4) スマート・ライフ・ステイ in きくち

菊池市役所商工観光課と協働して、ヘルスツーリズムの開発を目的に宿泊型新保健指導プログラム(スマート・ライフ・ステイ)を1泊2日のプログラムで実施した。
健診、保健指導を中心とした、ホテル、旅館等地元観光資源等を活用して行うヘルスツーリズムである。

	28年度			29年度			30年度			
	I 期	Ⅲ期	Ⅳ期	I 期	Ⅱ期	v 期	I 期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
参加人数	6	5	19	3	11	14	5	11	7	7
県外からの参加	0	2	0	1	0	0	0	0	2	1
合計参加人数	32			29			30			

28年度Ⅱ期は参加者不足のため実施していない。

5) その他

菊池市以外から委託され、菊池市で実施した健康セミナーを記載する。

(人)

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
親子食育講座(泗水中央公民館)		26	25	12	24	—
さわやか大学		—	—	46	—	—
ヘルスアップ教室(運動実践編)		26	11	15	—	—
菊池市生涯学習健康教室講座(体操教室)		—	—	—	11	10
七城温泉ドームわくわく健康セミナー	健康相談等	—	—	70	76	35
	健康メニュー提供と講話	—	—	56	90	84
水源交流館宅配弁当分析およびアドバイザー	弁当分析(※1)	—	—	5	5	3
	講義・調理実習	—	—	14	12	
地域出前講座(認知症予防体操等)		—	—	132	20	23
合計		52	36	350	238	155

※1 弁当分析は実施回数

2. 合志市

1) 特定保健指導

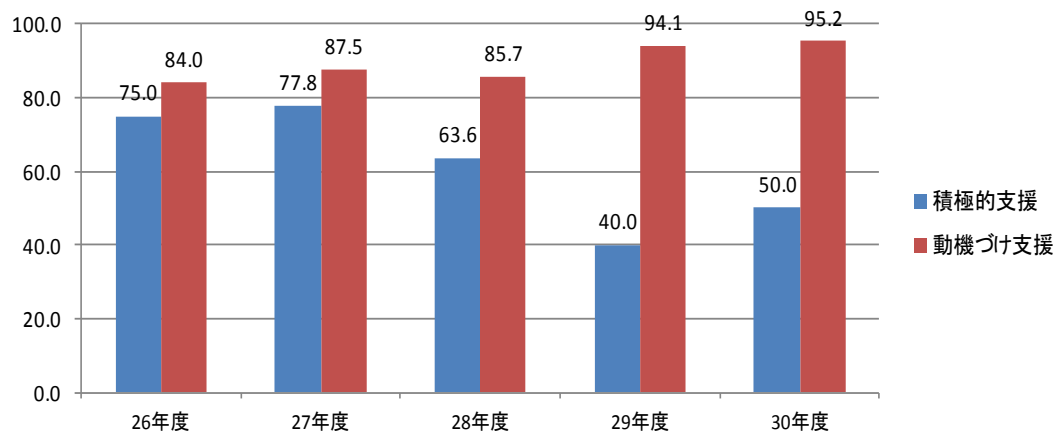
<人間ドック>

初回面接を実施する旨を伝えるタイミングを人間ドック結果説明の最中に行うことで、高い実施率を維持している。

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
特定保健指導 対象者総数(人)	37	33	32	22	25
特定保健指導 実施者総数(人)	30	28	25	18	22
特定保健指導 実施率(%)	81.1	84.8	78.1	81.8	88.0

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
積極的	対象者数(人)	12	9	11	5	4
	実施者数(人)	9	7	7	2	2
	実施率(%)	75.0	77.8	63.6	40.0	50.0
動機づけ	対象者数(人)	25	24	21	17	21
	実施者数(人)	21	21	18	16	20
	実施率(%)	84.0	87.5	85.7	94.1	95.2

特定保健指導 実施率(%)



2)健康づくり教室(こうし健康塾)

参加者は、平成25、26年度は公募にて募集を行った。平成27、28年度は、国民健康保険対象者の健康診断の結果から、合志市が対象者を選択、訪問・勧誘した者のうち参加を希望した者である。こうし健康ステーション野々島は区内回覧、掲示板への情報掲示、地区の祭りや集会でのチラシ配布等により勧誘を行った。

平成28年度は熊本大地震の影響で1クール分が中止となったが、平成27年度に比べ、1クールあたりの参加人数が増加し、平成27年度と同等の参加者数を維持した。

平成29年度以降は未実施となっている。

実施年度	教室名	対象	内容	回数	期間(週)	クール	参加人数
26	血糖コントロール教室	血糖軽度異常者	動脈硬化予防	5	10	1	25
	血管若返り教室 1期	脂質異常者	動脈硬化予防	7※2	26	1	24
	血管若返り教室 2期	脂質異常者	動脈硬化予防	7※2	15	1	31
	こうし健康ステーション野々島	野々島地区を拠点にした 市民全般	健康づくり	19	50	1	532※3
27	血管しなやかセミナー	血糖軽度及び脂質異常者	動脈硬化予防	7	12	3	57
28	血糖・コレステロールを下げるコツ	血糖軽度及び脂質異常者	動脈硬化予防	7	12	2	50
29	未実施						
30	未実施						

※1 採血、検査結果説明の2回は1、2期合同で実施

※2 当施設で管理している参加延べ人数を記載(参加者名簿は参加者管理)

3) 人間ドックの健康相談

人間ドック受診時に、結果を見ながら健康相談を実施している。

(人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
指導者数	245	223	231	262	274

4) ウェルネスシティこうし ＜効果測定会＞

平成27年度に募集したウォーキングモニターの経年変化を見るために、血液や体力について測定会を実施した。

(人)

	27年度		28年度	29年度	30年度
	初回測定会	効果測定会	効果測定会	効果測定会	効果測定会
参加人数(人)	275	－	43	89	87
合志市民人数(人)	263	－	41	81	79
合志市民参加率(%)	95.6	－	95.3	91.0	90.8

＜健康づくり事業＞

ウェルカム元気の森では、元気の森公園で青空ヨガやウォーキング講座、菊池市との合同企画としてトレーニングマシン体験会、体組成測定会などを行った。子育てママリフレッシュ健診では合志市生活習慣病予防健診対象の女性に、健診後に軽運動やランチをする企画を実施した。

実施年度	教室名	内容	回数	期間(週)	クール	参加人数
27	理想のカラダプロジェクト	健康づくり	8	15	1	28
	とことこステーション(元気の森)	地域の健康コミュニティづくり	10	－	－	約40※
28	めざせ！ウェルネス	健康づくり	4	12	1	11
	とことこヘルスクラブ	健康づくり	5	12	1	17
	お野菜プロジェクト	健康情報提供	4	－	－	約90※
	『こうし』をおいしく食べよう！	健康づくり	3	3	2	－
29	ウェルカム元気の森	健康情報提供	5	－	－	143
	お野菜プロジェクト	健康情報提供	6	－	－	約258※
30	ウェルカム元気の森	健康情報提供	7	－	－	155
	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	2	－	2	28

※自由参加にて、推定人数。

5) その他

健診後のフォローとして医療機関受診勧奨や、日常生活の注意などを目的に実施。参加者数は、減少傾向にあるが、熱心に話を聞かれている。

(人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
後期高齢者結果説明会	64	58	50	48	47

3. 協会けんぽ

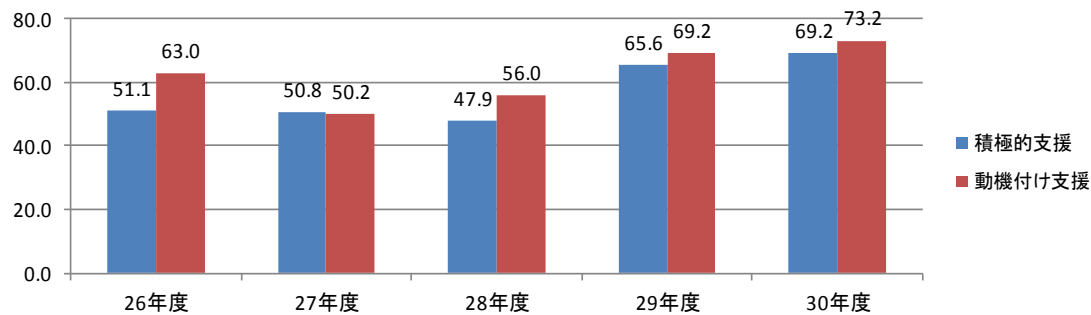
1) 特定保健指導

動機づけ支援、積極的支援ともに実施率が上昇している。当日実施において、速やかに実施する体制を整えたこと、また後日実施についても、事業所担当者様への事前打ち合わせを細やかに行ったことが、実施率向上につながったと思われる。

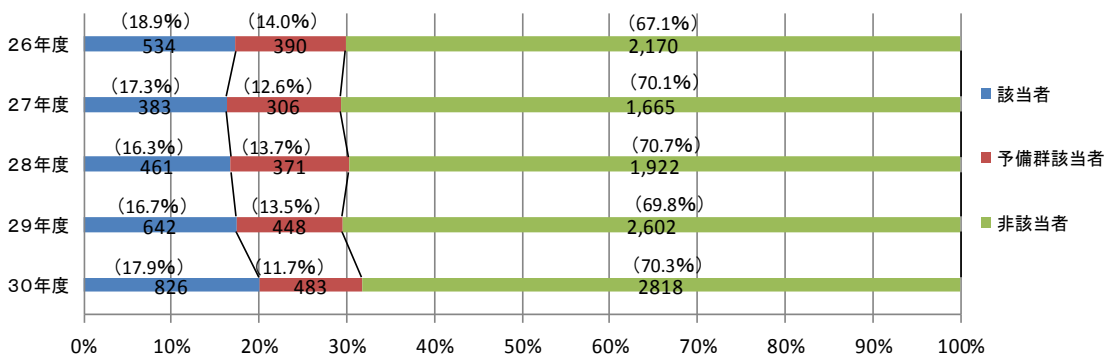
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
特定保健指導 対象者総数(人)	599	609	793	864	913
特定保健指導 実施者総数(人)	330	308	402	577	644
特定保健指導 実施率(%)	55.1	50.6	50.7	66.8	70.5

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
積極的	対象者数(人)	399	382	516	572	603
	実施者数(人)	204	194	247	375	417
	実施率(%)	51.1	50.8	47.9	65.6	69.2
動機づけ	対象者数(人)	200	227	277	292	310
	実施者数(人)	126	114	155	202	227
	実施率(%)	63.0	50.2	56.0	69.2	73.2
メタボリックシンドローム 判定	該当者数(人)	383	461	642	725	826
	予備群該当者(人)	306	371	448	455	483
	非該当者(人)	1,665	1,922	2,602	2,799	2,818

実施率(%)



メタボリックシンドローム判定 年度推移



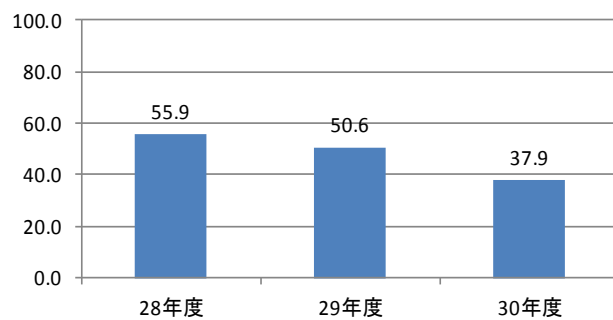
3. 協会けんぽ

1) 血液検査等検査(特定保健指導二次健診)

特定保健指導の初回面接を実施した人を対象に3ヶ月目以降に個人負担金無料で血液検査等を行っている。第3期の特定保健指導制度改定によって、評価期間が短縮したことで実施率が低下しているが、引き続き成果の上がる保健指導プログラムの構築に活かしていきたい。

	28年度	29年度	30年度
血液検査等検査 対象者総数(人)	188	577	700
血液検査等検査 実施者総数(人)	105	292	265
特定保健指導 実施率(%)	55.9	50.6	37.9

実施率(%)



4. ホンダ健康保健組合

1) 特定保健指導

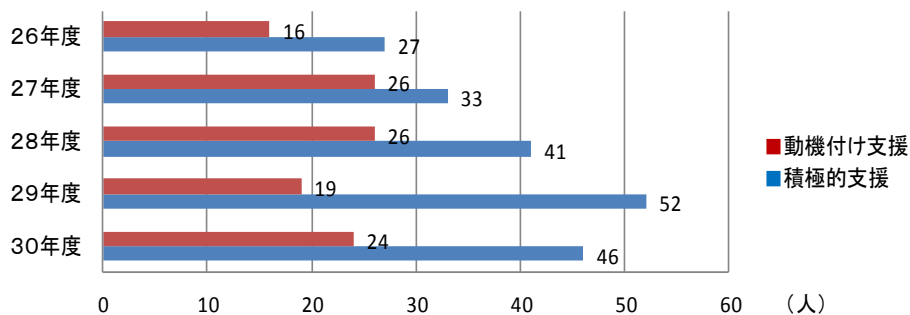
29年度から30年度にかけて特定保健指導対象者数は変化していないが、内訳として、積極的支援対象者が減少し動機づけ支援対象者が増加したことから改善傾向がみられた。

今年度は、健診結果から自身の健康状態を適切に把握し、受診が必要な方は受診することを目標に特定保健指導とグループセミナーを実施している。

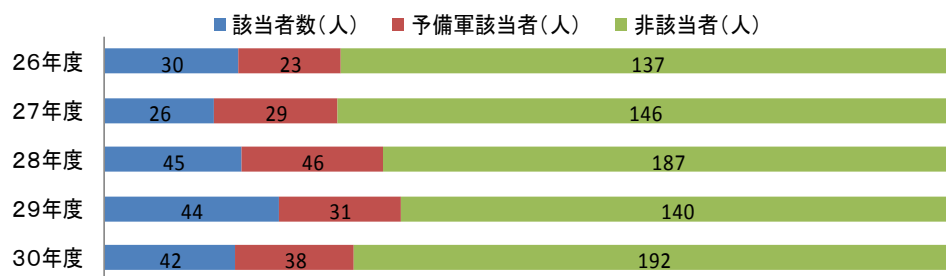
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
特定保健指導 対象者総数(人)	43	59	67	71	70
特定保健指導 実施者総数(人)	43	54	65	65	70
特定保健指導 実施率(%)	100	91.5	97.0	91.5	100

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
積極的	対象者数(人)	27	33	41	52	46
	実施者数(人)	27	31	40	46	46
	実施率(%)	100	93.9	97.6	88.5	100
動機づけ	対象者数(人)	16	26	26	19	24
	実施者数(人)	16	23	25	19	24
	実施率(%)	100	88.5	96.2	100	100
メタボリック シンドローム判定	該当者数(人)	32	33	52	49	42
	予備軍該当者(人)	58	35	49	35	38
	非該当者(人)	138	180	228	175	192

特定保健指導対象者年次推移



メタボリック症候群割合の変化



2)企業の健康教室

①概要

社員の生活習慣病発症を予防し、定年まで元気に仕事が続けられることを目的とした健康セミナーを特定保健指導対象者中心に1社で実施した。

7月は平成30年度健診に向けて健康維持と特定健診の階層化改善を目指して実施した。
11・12月は健診結果から自分に必要な健康行動を選択できる者を増やすことをテーマに特定保健指導対象者の初回面接を兼ねて実施した。

2、3月は企業からの依頼を受け、飲酒と喫煙に関するセミナーを実施した。

日程	テーマ	人数
7月24日	アンチエイジングセミナー ～めざせ！理想のカラダ～	11
11月28日	暮らしとカラダのデザインスクール 1回目	12
12月5日	暮らしとカラダのデザインスクール 2回目	14
2月26日	お酒で後悔しない！節酒セミナー	8
3月22日	禁煙セミナー	13

5. その他

1) 特定保健指導

特定保健指導のうち、これまでに記載していない保険者について下表にて記載する。

保険者名	階層化判定		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市町村職員 共済組合	積極的	対象者数(人)	6	3	5	0	2
		実施者数(人)	4	3	3	0	2
	動機づけ	対象者数(人)	3	1	1	1	1
		実施者数(人)	2	1	0	1	1
公立学校 共済組合	積極的	対象者数(人)	2	6	7	7	7
		実施者数(人)	1	6	7	5	7
	動機づけ	対象者数(人)	7	5	8	6	4
		実施者数(人)	7	5	8	4	4
支払基金	積極的	対象者数(人)	2	1	0	0	23
		実施者数(人)	2	1	0	0	23
	動機づけ	対象者数(人)	4	3	1	1	7
		実施者数(人)	4	3	1	1	7
東京都鉄二 保険組合	積極的	対象者数(人)	2	1	3	4	3
		実施者数(人)	2	1	3	4	3
	動機づけ	対象者数(人)	0	1	1	1	0
		実施者数(人)	0	1	1	1	0
菊池恵楓園 (厚生労働省第二共 済組合)	積極的	対象者数(人)	—	—	—	—	29
		実施者数(人)	—	—	—	—	29
	動機づけ	対象者数(人)	—	—	—	—	33
		実施者数(人)	—	—	—	—	33
合計	積極的	対象者数(人)	12	11	15	19	64
		実施者数(人)	9	11	13	17	64
		実施率(%)	75.0	100.0	86.7	89.5	100.0
	動機づけ	対象者数(人)	14	10	11	12	45
		実施者数(人)	13	10	10	10	45
		実施率(%)	92.9	100.0	90.9	83.3	100.0

V. 二次検診

1. 労災二次検診

労災保険二次健康診断など、給付制度は、労働衛生安全法に基づく定期健康診断などの結果で、肥満度・血圧・脂質・糖代謝のすべてが基準値以上となった方を対象としている。この検診は、業務上の脳血管疾患、心疾患の発症リスクを評価するための検査を行い、事業者による予防措置に役立てることを目的にしている。28年度より労災二次検診の基準値(血圧)を引き下げたことから対象者が増加している。また、29年度から受診者数が増加しているのは、ホンダ健保が労災二次検診受診を推進しているためだと考えられる。

図1. 労災二次検診受診者数

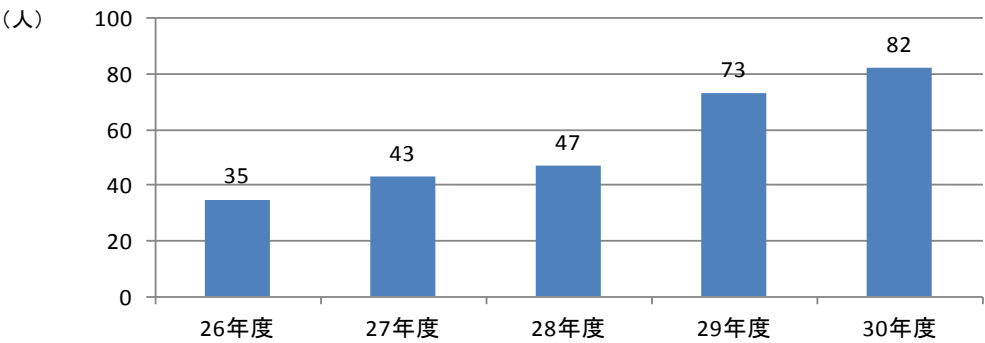
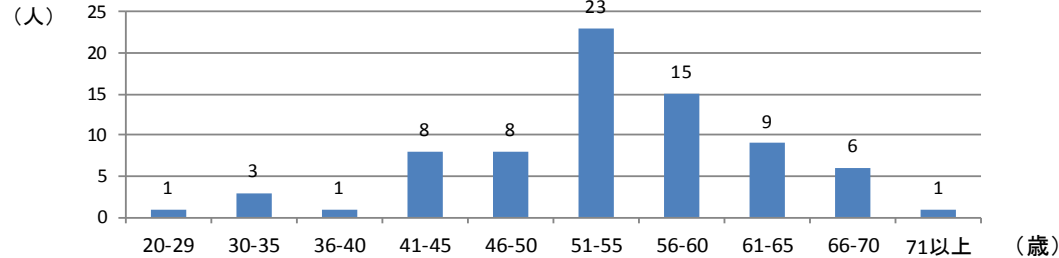


図2. 労災二次検診受診年齢別内訳

男性



女性

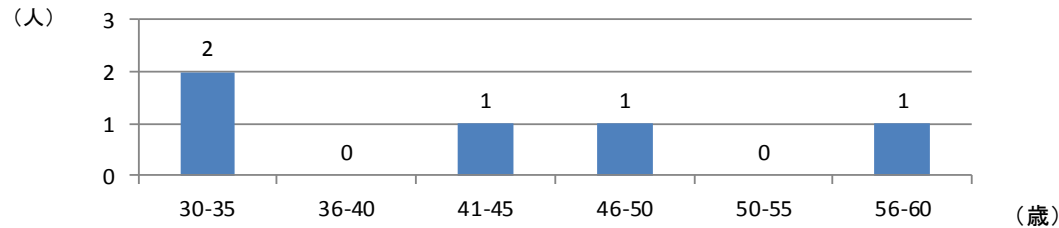


図3. 要精密・要治療 医療機関受診率

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
紹介状発行(人)	15	11	18	25	39
精密受診者(人)	5	0	9	14	18
受診率(%)	33.3	0	50	56	46.2

労災二次検診の精密受診率は平成28年度から50%近くを保っている。更なる受診率向上に向けて企業の担当者とも連携しながら、対策の検討と実施を進めていきたい。

2. ホンダ二次検診

今年度からホンダ二次検診を実施しておらず、受診者数は0人となっている。

図1. ホンダ二次検診受診者数推移

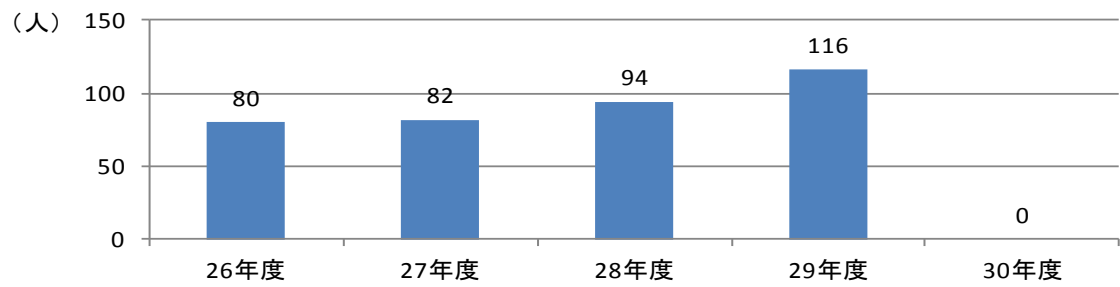


表1. ホンダ二次検診受診率の推移

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ホンダ二次対象者	103	106	117	138	0
受診者数	80	82	83	113	0
未受診者数	23	24	34	25	0
受診率(%)	77.7	77.4	70.9	81.9	0

表2. ホンダ二次検診 要精密検査・要治療 医療機関受診率の推移

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
紹介状発行(人)	26	28	40	61	0
精密受診者(人)	2	0	0	7	0
受診率(%)	7.69	0	0	12.9	0

3. 菊池市・合志市二次検診

特定健診受診後に、菊池市では積極的支援、合志市では積極的支援・動機づけ支援者を対象に二次検診を実施している。糖負荷検査では、メタボリックシンドロームによるインスリン抵抗性の影響から糖代謝異常が進んでいないか、頸動脈超音波検査では、動脈硬化が進んでいないかを評価することで、メタボリックシンドローム改善に向けての動機づけに有効な検査である。今年度より菊池市特定保健指導積極的支援対象者（重症化除く）に対しては、菊池養生園が特定保健指導を実施することとなった。初回面接時に菊池市二次検診について説明し、予約を取るようにしたため昨年度より実施数が若干増加している。

また、合志市二次検診は今年度より頸動脈超音波検査からABI検査に変更となっている。

図1. 二次検診受診者数推移

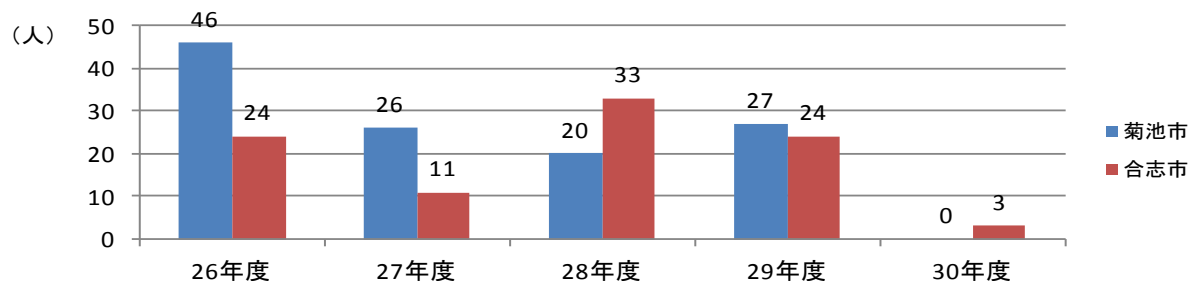
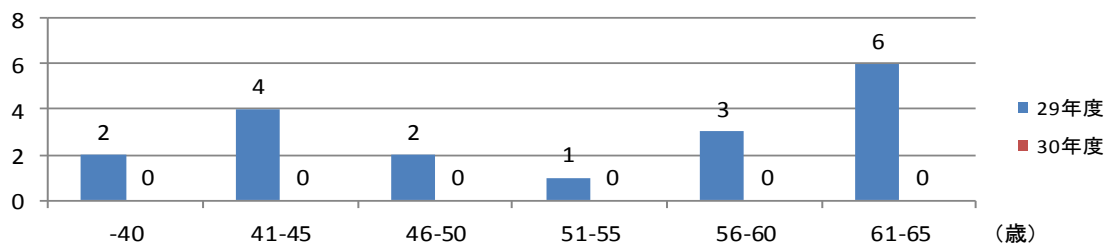


図2. 二次検診受診者年齢別内訳

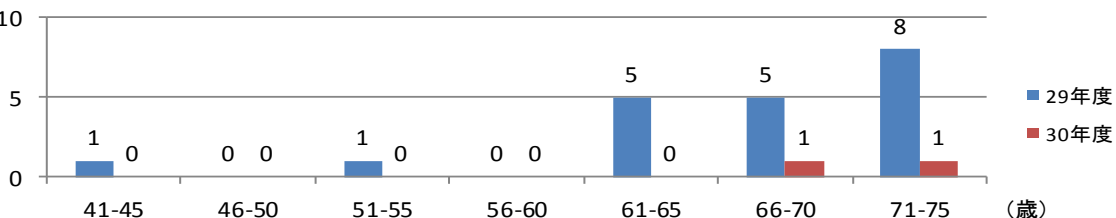
菊池市
男性
(人)



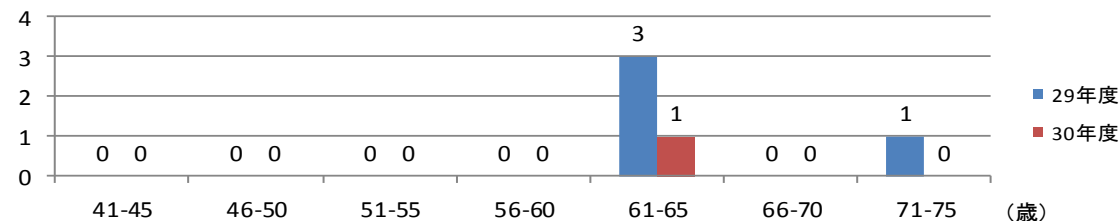
女性
(人)



合志市
男性
(人)



女性
(人)



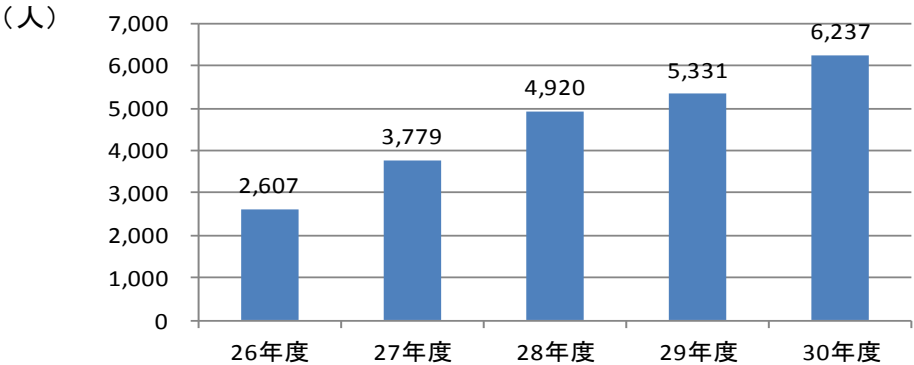
Ⅳ. 外来

1. 外来患者数の推移

平成30年度は、外来診療時間を月～木曜は10時～12時・14時～17時、金曜は10時～12時までとした。

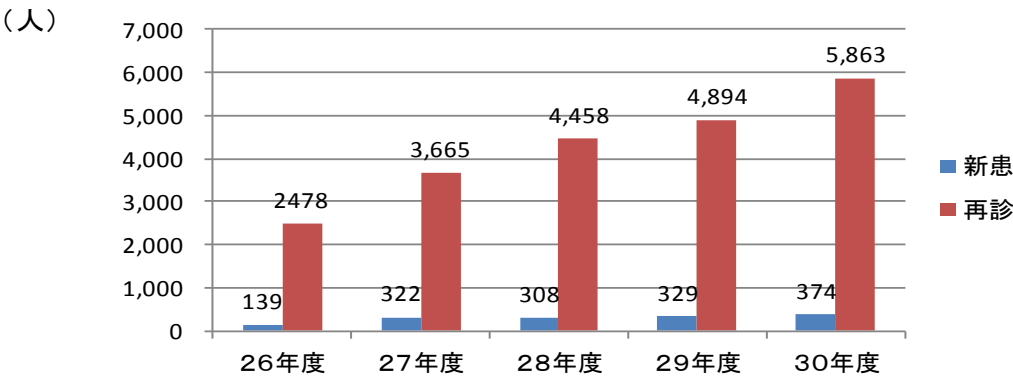
患者数は年々増加し、過去5年間で最多を記録した。

図1. 外来患者総数の推移



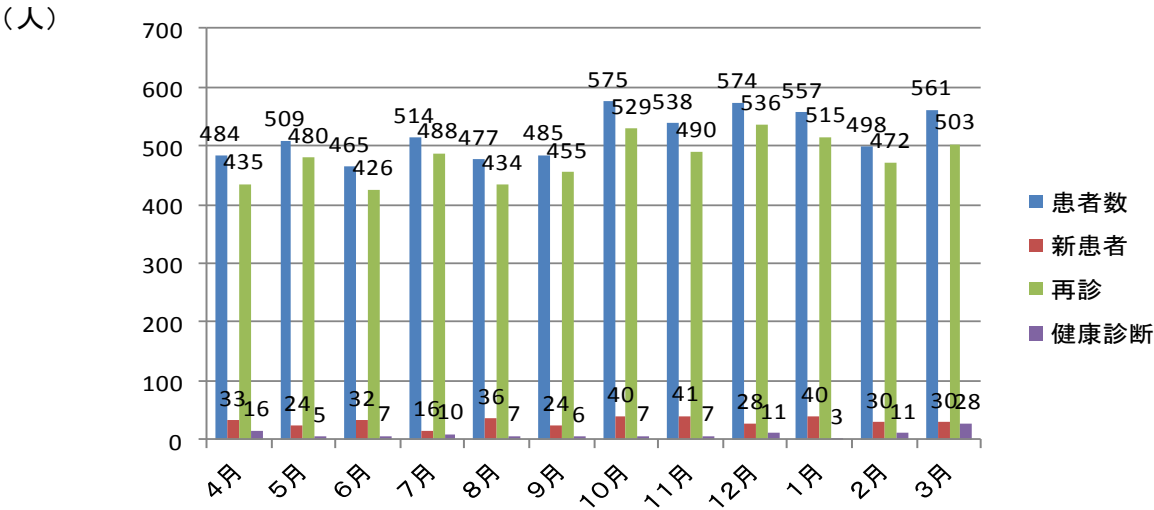
患者数は増加傾向にあり、平成29年度に比べて新患・再診とも患者数が増加している。初診後に継続して診療を受ける人が増えている。

図2. 外来患者数の推移(新患再診別)



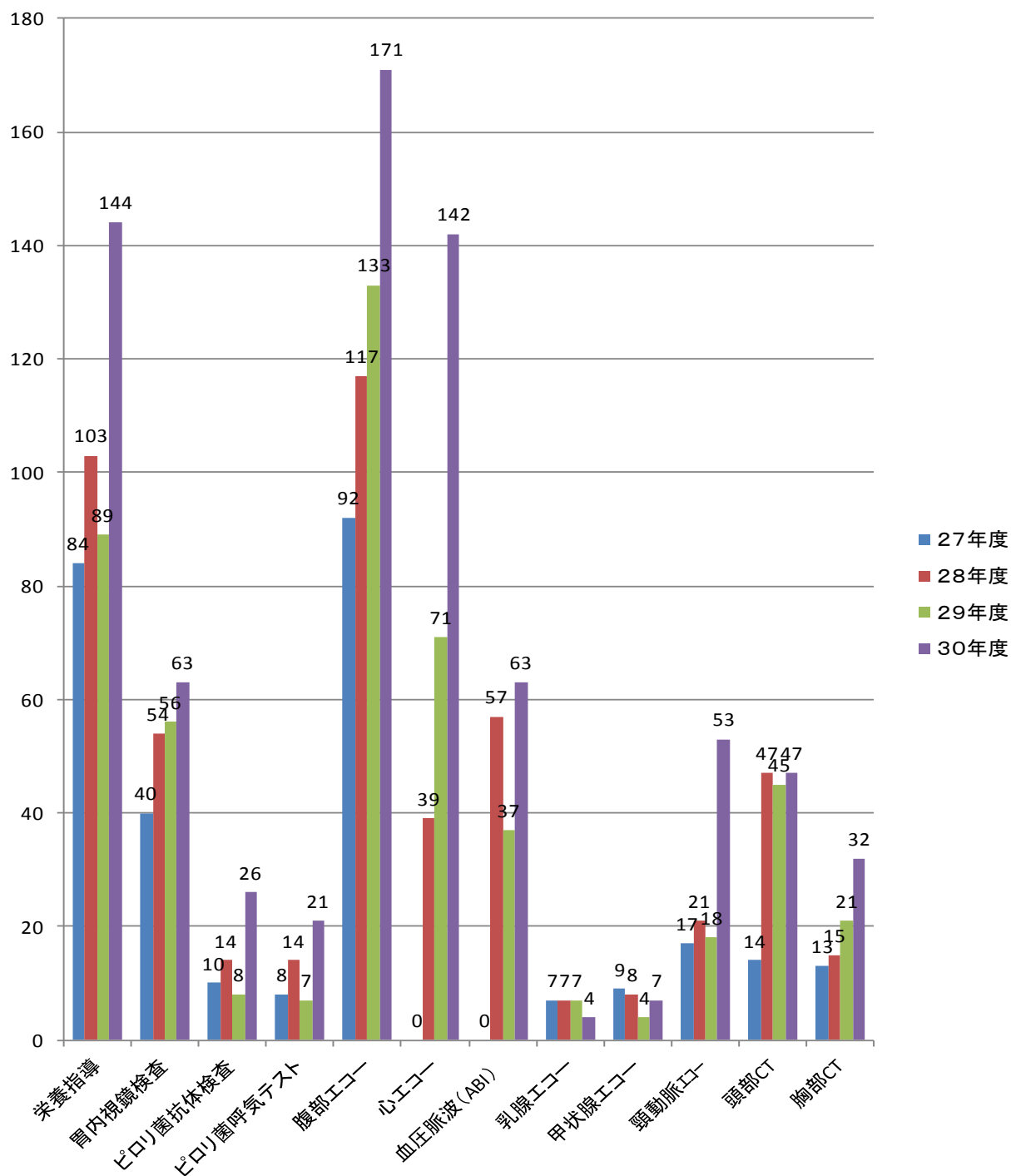
2. 外来受診者数の月毎推移

図1. 30年度月度患者数



3. 外来指導・検査・治療件数の比較

外来では腹部エコー、心エコー、頸部エコー、胸部CTの検査が増加傾向にある。健康診断を受けた後、大病院への紹介状記入の為に検査や定期検査でのフォローが増えたためである。心エコーについては心雑音指摘後の検査のための増加がみられる。また、薬物治療の前段階として運動・食事療法(SAT)を勧める傾向にあるため栄養指導が増加している。



Ⅳその他. インフルエンザ予防接種

平成30年度インフルエンザワクチン接種者は、3,715人であった。
(内勤・外勤・外来含む)
インフルエンザワクチン接種者数の月別内訳を、表1に示す。
平成29年度に続き平成30年度も11月の接種者が多かった。インフルエンザワクチンの供給不足により11月中旬から接種制限をかけた。接種希望者の多い11月にインフルエンザワクチンの供給の安定を図る事が出来れば更に、接種者が増加すると考えられる。

図1 年度、月別インフルエンザワクチン接種者数

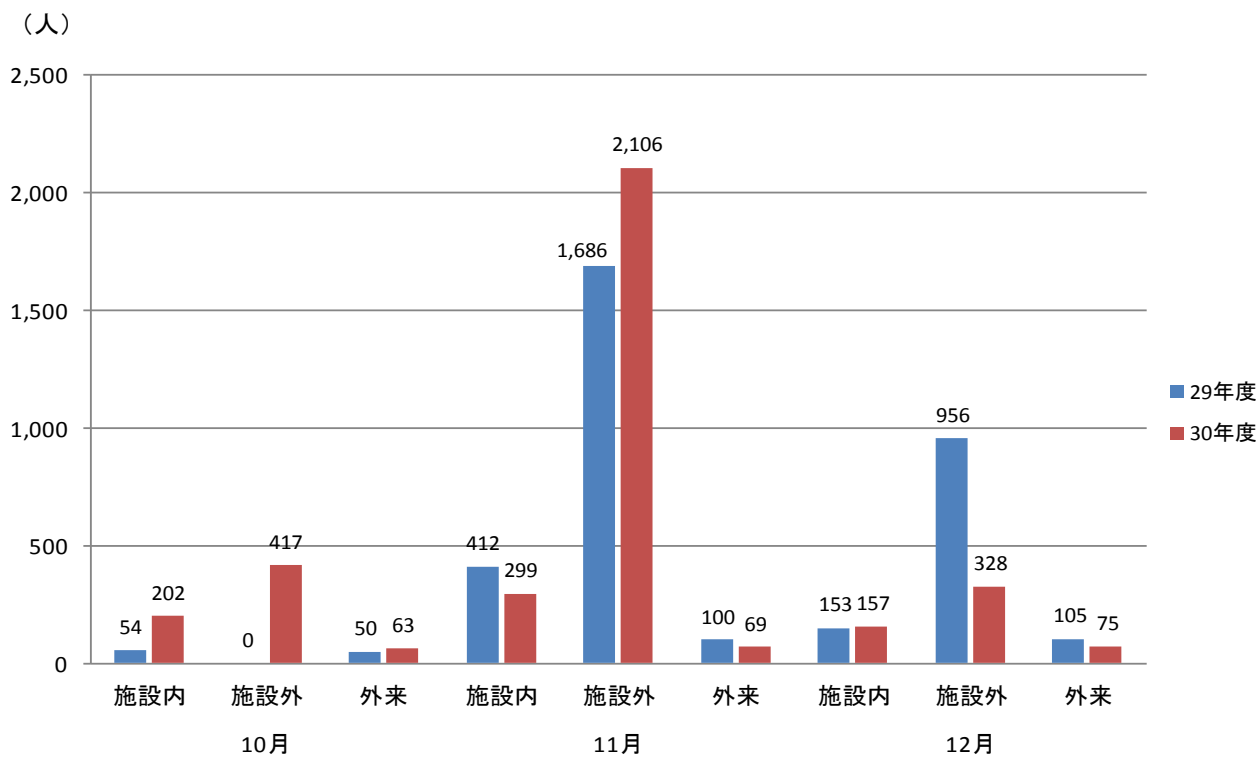


表1 インフルエンザワクチン接種者数 月別内訳

	10月			11月			12月			総計
	施設内	施設外	外来	施設内	施設外	外来	施設内	施設外	外来	
29年度	54	0	50	412	1,686	100	153	956	105	3,516
30年度	202	417	63	299	2,106	69	156	328	75	3,715

※内勤…人間ドック、住民分含む